資料２―３

第２次
枚方市健康増進計画
最終評価報告書（素案）

枚方市健康増進計画
マスコットキャラクター
カワセミ教授

令和５年〇月
枚 方 市

目　次

第１章　第２次枚方市健康増進計画の概要

１．　基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２．　取り組むべき基本方向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（１）基本方向１：健康づくりを支える環境整備・・・・・・・・・・・２
（２）基本方向２：生活習慣病の発症および重症化予防と
こころの健康の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（３）基本方向３：６つの分野に関する健康づくりの推進・・・・・・３
３．　計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
４．　中間評価の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
５．　計画期間内に再設定した目標項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

第２章　最終評価について

１．　最終評価の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
２．　最終評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
（１）最終評価の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
（２）最終評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
３．　最終評価のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
（１）目標達成状況別まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
（２）ライフステージ別に見た達成状況・・・・・・・・・・・・・・１５
４．　目標達成状況の詳細・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

第３章　最終評価からみえてきた課題と今後の取組の方向性

【資料編】

・　令和４年度 枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果報告書
・　令和４年度 小学生・中学生の生活習慣や歯と口の健康に関する調査結果報告書
・　令和４年度 高校生の「歯と口の健康」・「食」の健康に関する調査結果報告書

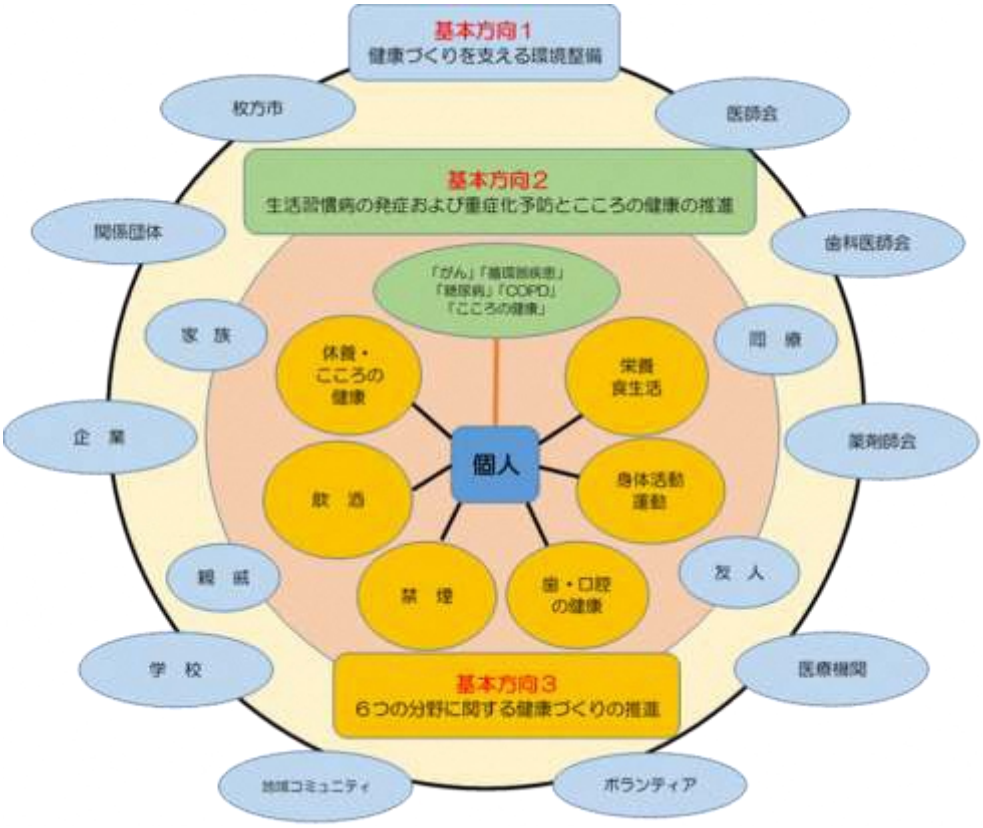
【凡例】

・　市民アンケート：生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート調査
・　小学生アンケート：小学生の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート
・　中学生アンケート：中学生の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート
・　高校生アンケート：高校生の「歯と口の健康」・「食」に関するアンケート

第１章　第２次枚方市健康増進計画の概要

本市では、すべての市民が健康で安心していきいきと暮らすことができるまちの実現を目指し、平成26年３月に第２次枚方市健康増進計画を策定し、市民の健康づくりの推進に取り組んでおります。

計画の推進にあたっては、基本理念のもと３つの基本方向を設定し、さまざまな関係機関・団体と情報共有しながら、協働で取り組みを進めました。



１．基本理念

市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こすことができるようサポートするとともに、健やかで心豊かな生活ができる社会環境づくりに取り組み、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができるまちの実現を目指します。

２．取り組むべき基本方向

基本理念の実現のためには、第１次計画の評価と方向性を踏まえながら、個人の取り巻く社会環境の整備を行い、健康を支え守るために生活習慣病の発症予防・重症化予防を図り、個人の生活習慣や健康づくりをサポートしていく必要があります。

こうした考えのもと、取り組むべき３つの基本方向を設定し、それぞれの基本的な取り組みの方向性を明らかにしました。

（１）基本方向１：健康づくりを支える環境整備

①地域資源の活用及び整備

【取組の方向性】

- 体を動かすための環境整備
- 食を取り巻く環境整備

②地域資源を活かしたネットワーク

【取組の方向性】

- 関係機関や団体が持っている専門性を活かし、効率的で効果的な事業展開
- 主体的に活動に参加することによる、地域のつながりや絆等の強化（ソーシャル・キャピタルの水準を上げる）

（２）基本方向２：生活習慣病の発症および重症化予防とこころの健康の推進

①がん

【取組の方向性】

- がんの発症予防の推進
- 早期発見・早期治療体制の整備

②循環器疾患

【取組の方向性】

- 循環器疾患についての情報発信及び知識の普及啓発
- 早期発見・早期治療の推進
- 重症化予防の推進

③糖尿病

【取組の方向性】

- 糖尿病についての情報発信及び知識の普及啓発
- 早期発見・早期治療の推進
- 重症化予防の推進

④ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）

【取組の方向性】

- ＣＯＰＤについての情報発信及び知識の普及啓発

⑤こころの健康

【取組の方向性】

- 相談窓口等の情報提供
- ストレス等に関する知識の普及啓発
- 地域保健と職域保健の連携

（３）基本方向３：６つの分野に関する健康づくりの推進（ライフステージ別の健康づくり）

「栄養・食生活」「身体活動・運動」「歯・口腔の健康」「喫煙」「飲酒」「休養・こころの健康」の６つの分野に関する生活習慣の改善は、生涯にわたり取り組む必要があります。

健康づくりを効果的に推進するために、各ライフステージにおいて６つの分野の中から特に重要と思われる分野を３つ取り上げ、重点的かつ継続的に取り組みを進めました。

①乳幼児期（０歳～６歳）

【取組の方向性】

栄養・食生活

- 正しい食習慣の推進

身体活動・運動

- 早寝早起きの生活習慣の推進
- 身体づくりのための遊ぶ場所や機会等、環境づくりの推進

歯・口腔の健康

- 歯と口腔の健康に関する知識の普及啓発
- 親子で歯の健康を維持できる環境づくりの推進

②児童生徒期（７歳～18 歳）

【取組の方向性】

栄養・食生活

- 様々な体験を通した食に関する知識の普及啓発

喫煙・飲酒

- たばこ・アルコールの害についての知識の普及啓発
- 家族ぐるみの禁煙の啓発

休養・こころの健康

- 規則正しい生活リズムの推進

③青年期（19 歳～39 歳）

【取組の方向性】

栄養・食生活

- バランスの良い食事に関する知識の普及啓発
- 正しい食習慣の推進

身体活動・運動

- スポーツ等で体を動かすための環境整備
- 運動習慣を定着するための支援

休養・こころの健康

- 相談窓口等の情報提供
- ストレス等に関する知識の普及啓発
- 地域保健と職域保健の連携

④壮年期（40 歳～64 歳）

【取組の方向性】

栄養・食生活

- バランスの良い食事に関する知識の普及啓発
- 正しい食習慣の推進

喫　煙

- 禁煙希望者に対しての支援
- 受動喫煙に関する知識の普及啓発

飲　酒

- 適正な飲酒量に関する知識の普及啓発

⑤高齢期（前期 65 歳～74 歳、後期 75 歳以上）

【取組の方向性】

栄養・食生活

- 肥満及び低栄養の予防の推進

身体活動・運動

- 介護予防（ロコモティブシンドローム予防、認知症予防等）の推進
- 運動・身体活動の推進
- 認知症予防の推進
- 認知症の早期発見・早期治療体制の整備

歯・口腔の健康

- むし歯、歯周病予防及び口腔機能の維持

3．計画期間

計画期間は平成 26 年度から令和５年度までの 10 年間としています。

計画の評価は、平成 30 年度に中間評価を行うとともに、計画の最終年度に最終評価を行うこととしました。

４．中間評価の概要

第２次枚方市健康増進計画は平成 26 年度から令和５年度までの 10 年間の計画で、中間の年度に当たる平成 30 年度に中間評価を行いました。

目標項目は 39 項目設定しており、中間評価についてはそれら目標項目の達成状況を中心に評価を行いました。

目標項目数 39 項目のうち、A（達成・概ね達成）または B＋（改善）、B－（やや改善）が合わせて 26 項目で、全体の約 66%を示す結果となりました。一方、C（変化なし）は４項目で 10.3%、D（悪化）は ９項目で 23.1%でした。

中間評価の結果からは、メタボリックシンドローム該当者の割合減少や適正体重を維持している者の増加等の達成状況について、青年期や壮年期の市民に対する取組が進んでいないことが伺えました。他方で、肥満とは真逆の「やせ」が課題となる年代もあったことから、第２次健康増進計画の最終年度に向けては、それぞれのライフステージに合わせた「適正体重を維持すること」を優先課題として設定しました。

図表 1　中間評価における目標達成度の概要

目標達成度			項目数
A	達成・概ね達成	達成率 90%以上	6（15.4%）
B+	改善	達成率 50%以上 90%未満	9（23.1%）
B-	やや改善	達成率 10%以上 50%未満	11（28.2%）
C	変化なし	達成率－10%以上 10%未満	4（10.3%）
D	悪化	達成率－10%未満	9（23.1%）
合　計			39（100%）

図表 2　中間評価における評価区分別の目標達成状況結果

■ 達成状況の分類あり

達成状況		項目番号	目標項目
A	達成・概ね達成	1	75 歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少（10 万人当たり）
		27	成人の喫煙率の減少
		28-1	【男性】生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少（１日あたりの純アルコール摂取量が男性 40g 以上、女性 20g 以上）
		28-2	【女性】生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少（１日あたりの純アルコール摂取量が男性 40g 以上、女性 20g 以上）
		32	認知症サポーターの人数の増加
		33	60 歳で 24 本以上の自分の歯を有する者の割合の増加（55～64 歳で算出）

達成状況		項目番号	目標項目
B+	改善	2	肺がん検診受診率の向上（40 歳以上）
		4	胃がん検診受診率の向上（40 歳以上）
		6	大腸がん検診受診率の向上（40 歳以上）
		10	高血圧（Ⅱ度以上）に該当する者の割合の減少 （収縮期血圧が 160 ㎜ Hg 以上または拡張期血圧が 100 ㎜ Hg 以上）
		17	３歳６か月児健康診査における、むし歯のない児の割合の増加
		19-1	【小学生】たばこの害について「わからない」小中学生の割合の減少
		30	運動習慣者の割合の増加（65 歳以上）
		31	日常生活において、意識して身体活動・運動を行っている者の割合の増加（75 歳以上）
		34	80 歳で 20 本以上の自分の歯を有する者の割合の増加
B-	やや改善	3	子宮頸がん検診受診率の向上（20 歳以上）
		5	乳がん検診受診率の向上（40 歳以上）
		7	特定健康診査の受診率の向上
		11-1	【男性】LDL コレステロール高値の割合の減少（160 ㎎／dl 以上）
		11-2	【女性】LDL コレステロール高値の割合の減少（160 ㎎／dl 以上）
		15	欠食のある幼児の減少（１日の食事回数が３回に満たない幼児の割合）
		16-1	１歳６か月児の早寝早起きの推奨（23 時以降に就寝する者の割合の減少）
		16-2	１歳６か月児の早寝早起きの推奨（９時以降に起床する者の割合の減少）
		18-2	【中学生】朝食を欠食している小中学生・高校生の割合の減少
		20-1	【小学生】アルコールの害について「わからない」小中学生の割合の減少
		23-2	【女性】朝食を欠食している大学生・専門学校生の減少
C	変化なし	9-2	メタボリックシンドローム予備群者の割合の減少
		18-1	【小学生】朝食を欠食している小中学生・高校生の割合の減少
		18-3	【高校生】朝食を欠食している小中学生・高校生の割合の減少
		24	運動習慣者の割合の増加（20 歳～64 歳）
D	悪化	8	特定保健指導の実施率の向上
		9-1	メタボリックシンドローム該当者の割合の減少
		13	ＣＯＰＤがどんな病気か知っている者の割合の向上
		19-2	【中学生】たばこの害について「わからない」小中学生の割合の減少
		20-2	【中学生】アルコールの害について「わからない」小中学生の割合の減少
		23-1	【男性】朝食を欠食している大学生・専門学校生の減少
		25	睡眠による休養が十分とれていない者の割合の減少
		26-1	【男性】適正体重を維持している者の増加（20～60 代） （肥満(BMI25 以上)の減少）
		26-2	【女性】適正体重を維持している者の増加（40～60 代） （肥満(BMI25 以上)の減少）

■ 達成状況の分類なし

（目標値が数値ではなく、達成状況を達成率で分類できないもの、または目標項目を変更したもの）

項目番号	目標項目	策定時からの変化
12	糖尿病型に該当する者の割合の増加の抑制 （空腹時血糖値≧126 ㎎/dl、随時血糖≧200 ㎎/dl、HbA1c（NGSP）≧6.5%）	横ばい
14	悩みやストレス等のために身体や心の不調がある者の割合の減少	増加
21-1	【小学生】睡眠時間が少ない小中学生の割合の減少	増加
21-2	【中学生】睡眠時間が少ない小中学生の割合の減少	横ばい
22	１日のうちに主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている者の増加	策定時値なし
29	低栄養傾向にある高齢者の割合の増加の抑制（BMI20 以下の高齢者）	減少

図表 3　中間評価におけるライフステージ別の目標達成状況結果

ライフステージ	達成状況	項目番号	目標項目
乳幼児期 （0～6歳）	B-	15	欠食のある幼児の減少（1日の食事回数が3回に満たない幼児の割合）
	B-	16-1	１歳６か月児の早寝早起きの推奨 （23 時以降に就寝する者の割合の減少）
	B-	16-2	１歳６か月児の早寝早起きの推奨 （9時以降に起床する者の割合の減少）
	B+	17	３歳６か月児健康診査における、むし歯のない児の割合の増加
学齢期 （7～18 歳）	C	18-1	【小学生】朝食を欠食している小中学生・高校生の割合の減少
	B-	18-2	【中学生】朝食を欠食している小中学生・高校生の割合の減少
	C	18-3	【高校生】朝食を欠食している小中学生・高校生の割合の減少
	B+	19-1	【小学生】たばこの害「わからない」小中学生の割合の減少
	D	19-2	【中学生】たばこの害「わからない」小中学生の割合の減少
	B-	20-1	【小学生】アルコールの害「わからない」小中学生の割合の減少
	D	20-2	【中学生】アルコールの害「わからない」小中学生の割合の減少
	分類なし	21-1	【小学生】睡眠時間が短い小中学生の割合の減少
	分類なし	21-2	【中学生】睡眠時間が短い小中学生の割合の減少
青年期 （19 歳～39 歳）	分類なし	22	１日のうちに主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている者の増加
	D	23-1	【男性】朝食を欠食している大学生・専門学校生の減少
	B-	23-2	【女性】朝食を欠食している大学生・専門学校生の減少
	C	24	運動習慣者の割合（20 歳～64 歳）の増加
	D	25	睡眠による休養が十分とれていない者の割合の減少

ライフステージ	達成状況	項目番号	目標項目
壮年期 （40 歳～64 歳）	D	26-1	【男性】適正体重を維持している者の増加（20～60 代） （肥満(BMI25 以上)の減少）
	D	26-2	【女性】適正体重を維持している者の増加（40～60 代） （肥満(BMI25 以上)の減少）
	A	27	成人の喫煙率の減少
	A	28-1	【男性】生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少（１日あたりの純アルコール摂取量が男性 40g 以上、女性 20g 以上）
	A	28-2	【女性】生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少（１日あたりの純アルコール摂取量が男性 40g 以上、女性 20g 以上）
高齢期 （65 歳～）	分類なし	29	低栄養傾向にある高齢者の割合の増加の抑制（BMI20 以下の高齢者）
	B+	30	運動習慣者の割合の増加（65 歳以上）
	B+	31	日常生活において、意識して身体活動・運動を行っている者の割合の増加（75 歳以上）
	A	32	認知症サポーターの人数の増加
	A	33	60 歳で 24 本以上の自分の歯を有する者の割合の増加（55～64 歳で算出）
	B+	34	80 歳で 20 本以上の自分の歯を有する者の割合の増加

5．計画期間内に再設定した目標項目

第２次枚方市健康増進計画の 39 項目の目標のうち、４項目について、関連計画での目標値の設定状況を踏まえ、中間評価時に目標値、目標年度等の再設定を行いました。計画策定時から変更のあった目標項目を以下に整理しています。

（１）　基本方向２　生活習慣病の発症及び重症化予防とこころの健康の推進

②循環器疾患

項目番号	目標項目	策定時目標値	変更後目標値	備考
7	特定健康診査の受診率の向上	60%	50%	第３期枚方市国民健康保険特定健康診査等実施計画に基づき、目標値を変更

（2）　基本方向３　６つの分野に関する健康づくりの推進

③青年期（19 歳～39 歳）／栄養・食生活

（変更前）

項目番号	目標項目	策定時目標値	変更後目標値	備考
22	１日のうちに主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている者の増加	100%	-	-

（変更後）

項目番号	目標項目	策定時目標値	変更後目標値	備考
22-1	１日のうち２食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている若い世代の増加（20 歳代・30 歳代）	-	60%	第３次枚方市食育推進計画に基づき、目標項目と目標値を変更
22-2	１日のうち２食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている者の増加	-	70%	

（3）　基本方向３　６つの分野に関する健康づくりの推進

⑤高齢期（前期：65 歳～74 歳 ・ 後期：75 歳以上）／身体活動・運動

項目番号	目標項目	策定時目標値	変更後目標値	備考
32	認知症サポーターの人数の増加	12,300 人	28,100 人	ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第７期）に基づき、目標値を変更

（4）　基本方向３　６つの分野に関する健康づくりの推進

⑤高齢期（前期：65 歳～74 歳 ・ 後期：75 歳以上）／歯・口腔の健康／前期高齢者

項目番号	目標項目	策定時目標値	変更後目標値	備考
33	60 歳で 24 本以上の自分の歯を有する者の割合の増加（55～64 歳で算出）	70.0%	さらなる増加	枚方市歯科口腔保健計画に基づき、目標値を変更

第２章　最終評価について

１．最終評価の趣旨

第２次枚方市健康増進計画は平成 26 年度から令和５年度までの 10 年間の計画であり、最終年度である令和５年度に最終評価を行うことにより、その後の健康増進の取組に反映することとしています。

これを踏まえ最終評価では、健康増進計画で策定した目標の達成状況を明らかにすることにより、新たな課題や今後の取組方向を確認することを目的に実施しました。今後は第２次枚方市健康増進計画の最終評価結果を、第３次枚方市健康増進計画や健康増進に関わる各種取組へ反映していきます。

２．最終評価の方法

（１）　最終評価の流れ

〔令和４年度〕

11 月　　第１回 枚方市健康推進本部 健康増進部会の開催
　　第１回 枚方市健康増進計画審議会の開催

12 月～２月　　各アンケートの実施
- 生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート調査
- 小学生の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート
- 中学生の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート
- 高校生の「歯と口の健康」・「食」に関するアンケート

３月　　第２回 枚方市健康推進本部 健康増進部会の開催
　　第２回 枚方市健康増進計画審議会の開催

〔令和５年度〕

●月　　第１回 枚方市健康推進本部 健康増進部会の開催
　　第１回 枚方市健康増進計画審議会の開催

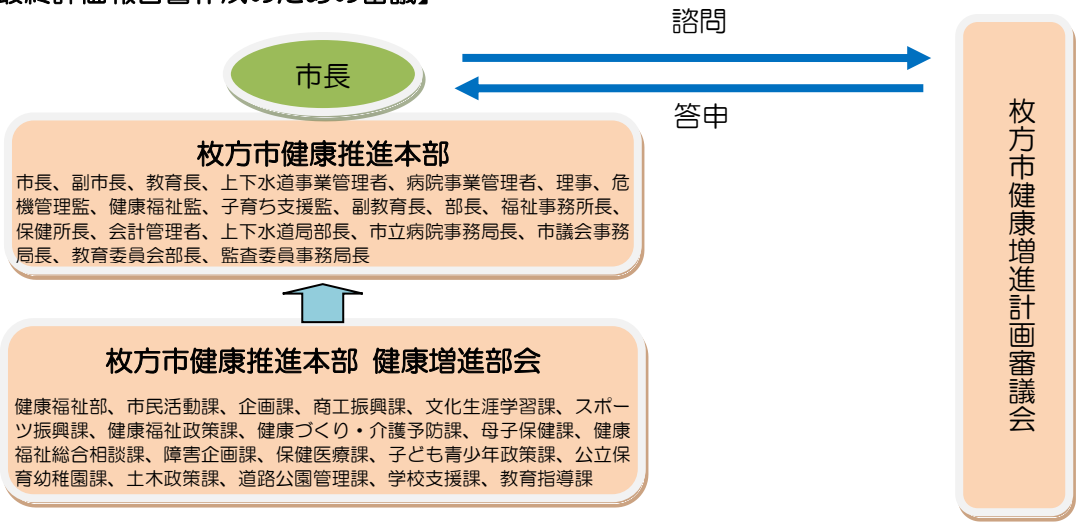
【調査及び結果の分析】

アンケートの実施
- 市内公立小学校（小学６年生：572 人）
- 市内公立中学校（中学２年生：288 人）
- 市内高等学校（890 人）
- 本市在住の 16 歳以上の方（1,169 人）

→

アンケート結果等の分析・評価
（集計結果の詳細は資料編参照）

【最終評価報告書作成のための審議】



（2） 最終評価の方法

目標項目の達成状況について、現状値はアンケート調査及び庁内関係各課の実績データ等を利用し、計画策定時値と現状値及び目標値の比較により、以下の判定基準を用いて目標達成度を判定しました。

図表 4 目標達成度と判定基準

目標達成度		判定基準
A	「達成・概ね達成」	達成率 90%以上
B+	「改善」	達成率 50%以上 90%未満
B-	「やや改善」	達成率 10%以上 50%未満
C	「変化なし」	達成率－10%以上 10%未満
D	「悪化」	達成率－10%未満
「分類なし」		目標値が数値ではなく、達成状況を達成率で分類できないもの、または目標項目を変更したもの

〔達成率の考え方〕

増加目標：（現状値－計画策定時値）/（目標値－計画策定時値）

削減目標：（計画策定時値－現状値）/（計画策定時値－目標値）

３．最終評価のまとめ

基本方向１の「健康づくりを支える環境整備」は、基本方向２「生活習慣病の発症及び重症化予防とこころの健康」や基本方向３「６つの分野に関する健康づくりの推進」の取り組みを推進するにあたり、土台（幹）となる重要な部分です。この土台（幹）となる基本方向１の取り組みが進んでこそ、枝となる基本方向２と基本方向３の充実が図れると考えます。このため、最終評価のまとめとして、基本方向２と基本方向３の達成状況を「図表 ６　最終評価における評価区分別の目標達成状況結果」の通り整理することで、基本方向１も含めた本計画全体の進捗状況を確認しました。さらに、「図表 ７　最終評価におけるライフステージ別の目標達成状況結果」の通りライフステージ別に進捗状況を見ることで、今後優先的にアプローチすべき年齢層を確認しました。

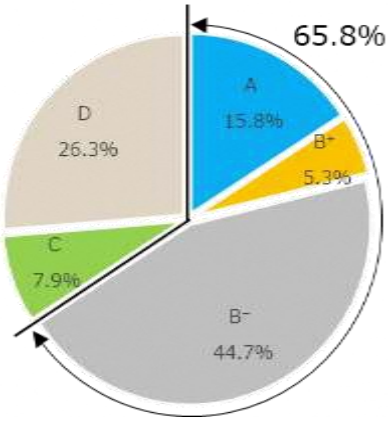
（１）　目標達成状況別まとめ

目標項目数 38 項目のうち、A（達成）または B+（改善）、B−（やや改善）が合わせて 25 項目で、全体の 65.8%を示す結果となりました。

一方、C（変化なし）は３項目で 7.9%、D（悪化）は 10 項目で 26.3%という結果でした。

図表 ５　最終評価における目標達成度の概要

目標達成度			項目数
A	達成・概ね達成	達成率 90%以上	6（15.8%）
B+	改善	達成率 50%以上 90%未満	2（5.3%）
B-	やや改善	達成率 10%以上 50%未満	17（44.7%）
C	変化なし	達成率−10%以上 10%未満	3（7.9%）
D	悪化	達成率−10%未満	10（26.3%）
合　計			38（100%）



図表 ６　最終評価における評価区分別の目標達成状況結果

■ 達成状況の分類あり

達成状況		項目番号	目標項目
A	達成・概ね達成	1	75 歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少（10 万人当たり）
		2	肺がん検診受診率の向上（40 歳以上）
		6	大腸がん検診受診率の向上（40 歳以上）
		17	３歳６か月児健康診査における、むし歯のない児の割合の増加
		27	成人の喫煙率の減少
		34	80 歳で 20 本以上の自分の歯を有する者の割合の増加

達成状況		項目番号	目標項目
B+	改善	28-1	【男性】生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少 （1日あたりの純アルコール摂取量が男性 40g 以上、女性 20g 以上）
		32	認知症サポーターの人数の増加
B-	やや改善	3	子宮頸がん検診受診率の向上（20 歳以上）
		4	胃がん検診受診率の向上（40 歳以上）
		5	乳がん検診受診率の向上（40 歳以上）
		7	特定健康診査の受診率の向上
		11-1	【男性】LDL コレステロール高値の割合の減少（160 ㎎／dl 以上）
		11-2	【女性】LDL コレステロール高値の割合の減少（160 ㎎／dl 以上）
		15	欠食のある幼児の減少（1日の食事回数が3回に満たない幼児の割合）
		16-1	1歳6か月児の早寝早起きの推奨（23 時以降に就寝する者の割合の減少）
		16-2	1歳6か月児の早寝早起きの推奨（9時以降に起床する者の割合の減少）
		18-2	【中学生】朝食を欠食している小中学生・高校生の割合の減少
		19-2	【中学生】たばこの害について「わからない」小中学生の割合の減少
		20-1	【小学生】アルコールの害について「わからない」小中学生の割合の減少
		20-2	【中学生】アルコールの害について「わからない」小中学生の割合の減少
		24	運動習慣者の割合の増加（20 歳～64 歳）
		26-2	【女性】適正体重を維持している者の増加（40～60 代） （肥満(BMI25 以上)の減少）
		30	運動習慣者の割合の増加（65 歳以上）
		31	日常生活において、意識して身体活動・運動を行っている者の割合の増加（75 歳以上）
C	変化なし	8	特定保健指導の実施率の向上
		13	ＣＯＰＤがどんな病気か知っている者の割合の向上
		18-3	【高校生】朝食を欠食している小中学生・高校生の割合の減少
D	悪化	9-1	メタボリックシンドローム該当者の割合の減少
		9-2	メタボリックシンドローム予備群者の割合の減少
		10	高血圧（Ⅱ度以上）に該当する者の割合の減少 （収縮期血圧が 160 ㎜ Hg 以上または拡張期血圧が 100 ㎜ Hg 以上）
		18-1	【小学生】朝食を欠食している小中学生・高校生の割合の減少
		19-1	【小学生】たばこの害について「わからない」小中学生の割合の減少
		23-1	【男性】朝食を欠食している大学生・専門学校生の減少
		23-2	【女性】朝食を欠食している大学生・専門学校生の減少
		25	睡眠による休養が十分とれていない者の割合の減少
		26-1	【男性】適正体重を維持している者の増加（20～60 代） （肥満(BMI25 以上)の減少）
		28-2	【女性】生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少 （1日あたりの純アルコール摂取量が男性 40g 以上、女性 20g 以上）

■ 達成状況の分類なし

（目標値が数値ではなく、達成状況を達成率で分類できないもの、または目標項目を変更したもの）

項目番号	目標項目	目標値	策定時からの変化
12	糖尿病型に該当する者の割合の増加の抑制 （空腹時血糖値≧126 ㎎/dl、随時血糖≧200 ㎎/dl、HbA1c（NGSP）≧6.5%）	増加の抑制	横ばい
14	悩みやストレス等のために身体や心の不調がある者の割合の減少	減少へ	横ばい
21-1	【小学生】睡眠時間が少ない小中学生の割合の減少	減少へ	増加
21-2	【中学生】睡眠時間が少ない小中学生の割合の減少	減少へ	増加
22-1	1 日のうちに 2 食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている若い世代の増加（20 歳代・30 歳代）	60%	策定時値なし
22-2	1 日のうちに 2 食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている者の増加	70%	策定時値なし
29	低栄養傾向にある高齢者の割合の増加の抑制（BMI20 以下の高齢者）	増加の抑制	減少
33	60 歳で 24 本以上の自分の歯を有する者の割合の増加（55～64 歳で算出）	さらなる増加	増加

（2）　ライフステージ別に見た達成状況

乳幼児期及び高齢期の目標項目については、他のライフステージに比べ、より多くの項目が改善傾向を示す結果となりました。

一方、学齢期、青年期、壮年期の目標項目については、悪化している項目も見られました。学齢期や青年期では、朝食の欠食に関する目標項目の達成状況が思わしくないことが伺えます。また、依然として青年期では睡眠による休養に関する目標項目と、壮年期では男性の適正体重の維持に関する目標項目の達成状況の改善が見られない状況が続いています。

図表 7　最終評価におけるライフステージ別の目標達成状況結果

ライフステージ	達成状況	項目番号	目標項目
乳幼児期 （0～6歳）	B-	15	欠食のある幼児の減少（1日の食事回数が3回に満たない幼児の割合）
	B-	16-1	1歳6か月児の早寝早起きの推奨 （23時以降に就寝する者の割合の減少）
	B-	16-2	1歳6か月児の早寝早起きの推奨 （9時以降に起床する者の割合の減少）
	A	17	3歳6か月児健康診査における、むし歯のない児の割合の増加
学齢期 （7～18歳）	D	18-1	【小学生】朝食を欠食している小中学生・高校生の割合の減少
	B-	18-2	【中学生】朝食を欠食している小中学生・高校生の割合の減少
	C	18-3	【高校生】朝食を欠食している小中学生・高校生の割合の減少
	D	19-1	【小学生】たばこの害「わからない」小中学生の割合の減少
	B-	19-2	【中学生】たばこの害「わからない」小中学生の割合の減少
	B-	20-1	【小学生】アルコールの害「わからない」小中学生の割合の減少
	B-	20-2	【中学生】アルコールの害「わからない」小中学生の割合の減少
	分類なし （増加）	21-1	【小学生】睡眠時間が短い小中学生の割合の減少
	分類なし （増加）	21-2	【中学生】睡眠時間が短い小中学生の割合の減少
青年期 （19歳～39歳）	分類なし ※策定時値なし	22-1	1日のうちに2食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている若い世代の増加（20歳代・30歳代）
	D	23-1	【男性】朝食を欠食している大学生・専門学校生の減少
	D	23-2	【女性】朝食を欠食している大学生・専門学校生の減少
	B-	24	運動習慣者の割合の増加（20歳～64歳）
	D	25	睡眠による休養が十分とれていない者の割合の減少

ライフステージ	達成状況	項目番号	目標項目
壮年期 （40 歳～64 歳）	D	26-1	【男性】適正体重を維持している者の増加（20～60 代） （肥満(BMI25 以上)の減少）
	B-	26-2	【女性】適正体重を維持している者の増加（40～60 代） （肥満(BMI25 以上)の減少）
	A	27	成人の喫煙率の減少
	B+	28-1	【男性】生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少 （1 日あたりの純アルコール摂取量が男性 40g 以上、女性 20g 以上）
	D	28-2	【女性】生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少 （1 日あたりの純アルコール摂取量が男性 40g 以上、女性 20g 以上）
高齢期 （65 歳～）	分類なし （減少）	29	低栄養傾向にある高齢者の割合の増加の抑制 （BMI20 以下の高齢者）
	B-	30	運動習慣者の割合の増加（65 歳以上）
	B-	31	日常生活において、意識して身体活動・運動を行っている者の割合の増加（75 歳以上）
	B+	32	認知症サポーターの人数の増加
	分類なし （増加）	33	60 歳で 24 本以上の自分の歯を有する者の割合の増加 （55～64 歳で算出）
	A	34	80 歳で 20 本以上の自分の歯を有する者の割合の増加

４．目標達成状況の詳細

（１）　基本方向２：生活習慣病の発症及び重症化予防とこころの健康の推進

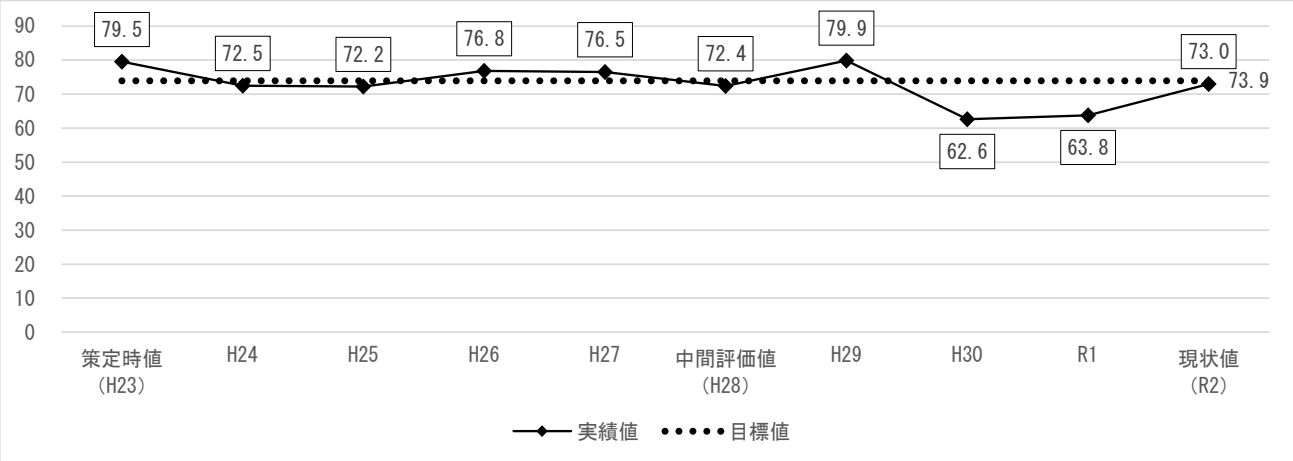
①　がん

項目番号	目標項目	策定時値(H23 年度)	中間評価値(H28 年度)	現状値(R2 年度)	目標値(R5 年度)	達成状況
1	75 歳未満のがんの年齢調整死亡率※1 の減少（10 万人当たり）	79.5	72.4	73.0	73.9	A（暫定）

出所：総務省「国勢調査」、大阪府「成人病統計」

※1：国勢調査＜市町村、年齢（5 歳階級）別人口＞と基準の当該年齢調整人口、保健所＜死因別死亡数、性・年齢（5 歳階級）＞を用いて算出

（項目番号 1）75 歳未満のがんの年齢調整死亡率　※10 万人当たり



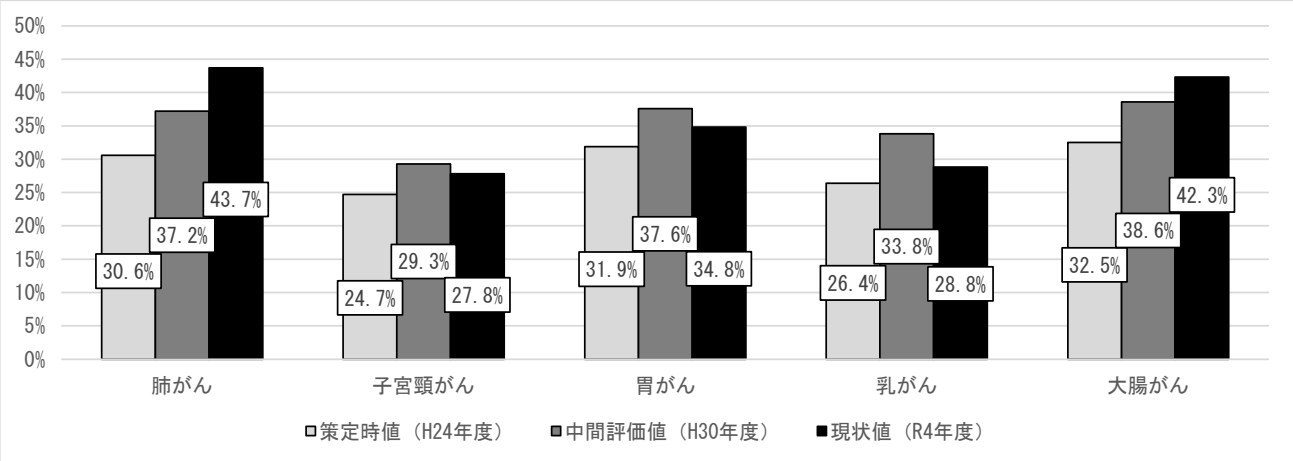
【アンケート結果より】

項目番号	目標項目	策定時値(H24 年度)	中間評価値(H30 年度)	現状値(R4 年度)	目標値(R5 年度)	達成状況
2	肺がん検診受診率の向上（40 歳以上）	30.6%（n=1,499） 24.6%※1（n=2,039）	37.2%（n=971） 30.7%※1（n=1,217）	43.7%（n=868） 39.5%※1（n=1,169）	40%	A
3	子宮頸がん検診受診率の向上（20 歳以上）	24.7%（n=1,057） 23.5%※1（n=1,099）	29.3%（n=665） 28.2%※1（n=694）	27.8%（n=627） 27.3%※1（n=638）	50%	B-
4	胃がん検診受診率の向上（40 歳以上）	31.9%（n=1,499） 25.6%※1（n=2,039）	37.6%（n=971） 32.1%※1（n=1,217）	34.8%（n=868） 30.1%※1（n=1,169）	40%	B-
5	乳がん検診受診率の向上（40 歳以上）	26.4%（n=826） 22.9%※1（n=1,099）	33.8%（n=542） 30.4%※1（n=694）	28.8%（n=476） 27.4%※1（n=638）	50%	B-

項目番号	目標項目	策定時値(H24 年度)	中間評価値(H30 年度)	現状値(R4 年度)	目標値(R5 年度)	達成状況
6	大腸がん検診受診率の向上（40 歳以上）	32.5% （n=1,499） 25.4%※1 （n=2,039）	38.6% （n=971） 32.4%※1 （n=1,217）	42.3% （n=868） 36.3%※1 （n=1,169）	40%	A

出所：市民アンケート
※1：下段は、16 歳以上を対象にした結果

（項目番号２～６）がん検診受診率（アンケート結果より）　※40 歳以上（子宮頸がん検診のみ 20 歳以上）

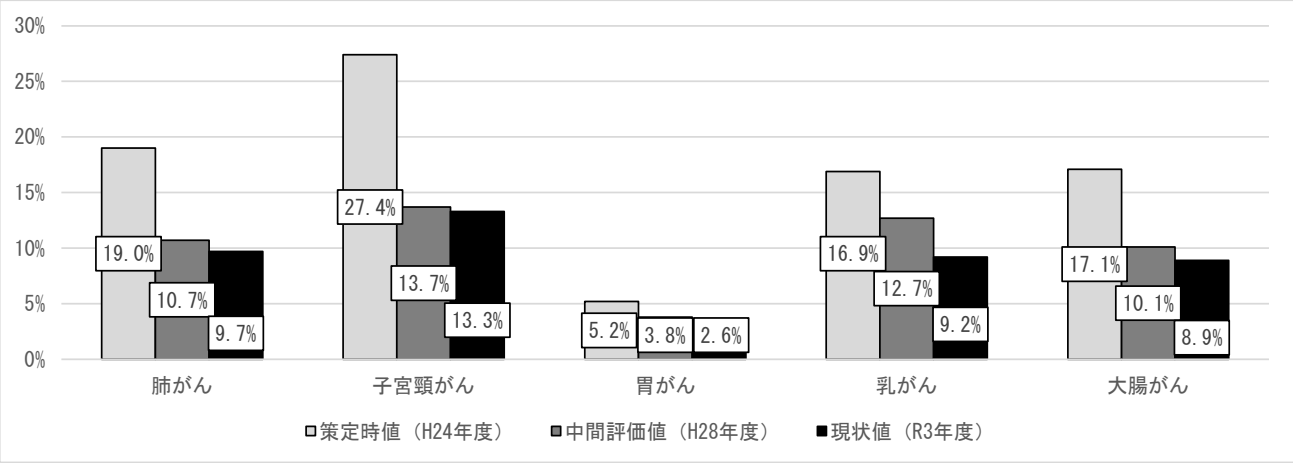


【市実施のがん検診より】

項目番号	目標項目	策定時値(H24 年度)	中間評価値(H28 年度)	現状値(R3 年度)
2	肺がん検診受診率の向上（40 歳以上）	19.0% （n=123,798）	10.7% （n=242,519）	9.7% （n=250,397）
3	子宮頸がん検診受診率の向上（20 歳以上）	27.4% （n=100,796）	13.7% （n=173,219）	13.3% （n=173,488）
4	胃がん検診受診率の向上（40 歳以上）	5.2% （n=123,798）	3.8% （n=242,519）	2.6% （n=250,397）
5	乳がん検診受診率の向上（40 歳以上）	16.9% （n=79,673）	12.7% （n=128,890）	9.2% （n=133,737）
6	大腸がん検診受診率の向上（40 歳以上）	17.1% （n=123,798）	10.1% （n=242,519）	8.9% （n=250,397）

出所：枚方市が実施しているがん検診受診結果（職域の推定人口を含まない）

（項目番号２～６）がん検診受診率（市実施のがん検診より）　※40 歳以上（子宮頸がん検診のみ 20 歳以上）

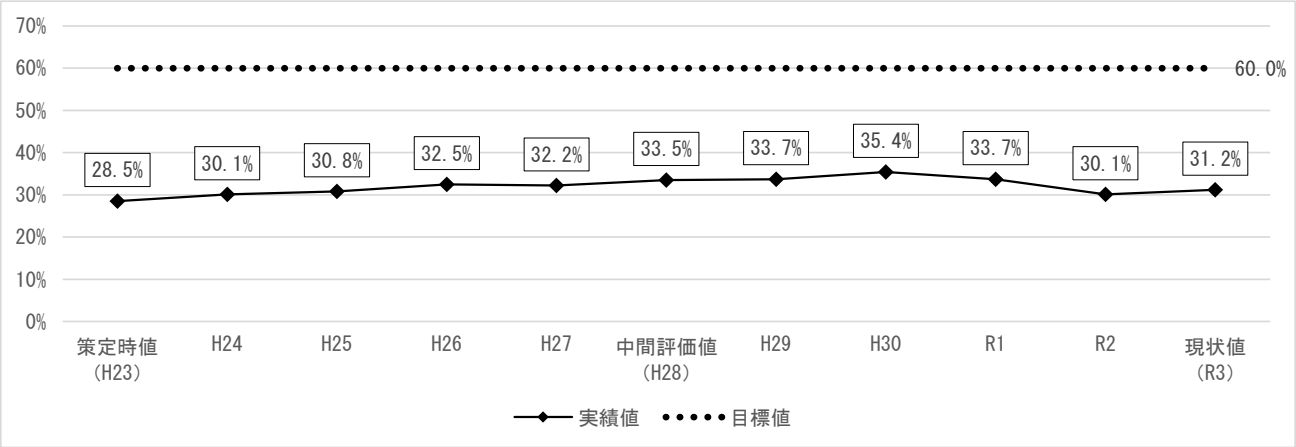


② 循環器疾患

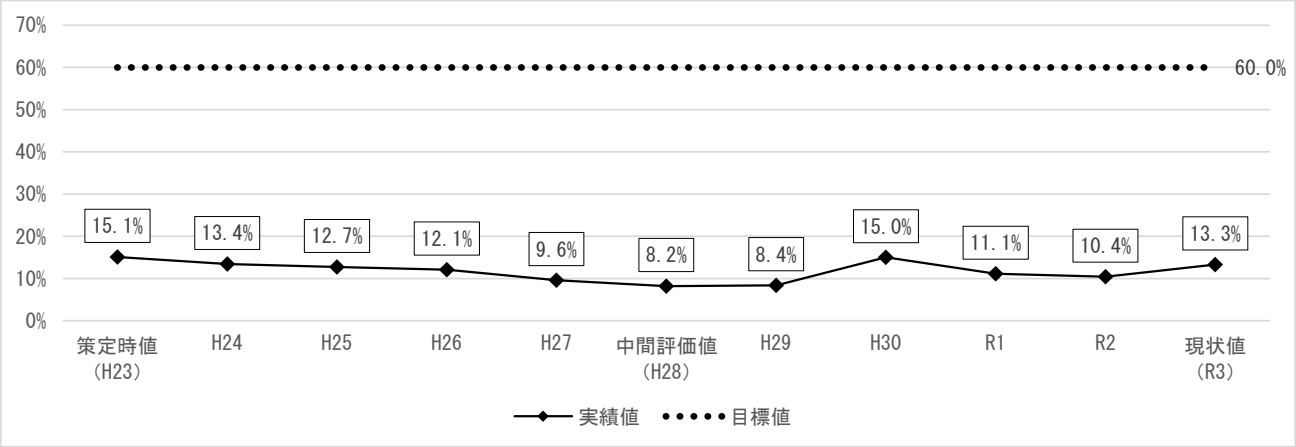
項目番号	目標項目	策定時値(H23 年度)	中間評価値(H28 年度)	現状値(R3 年度)	目標値(R5 年度)	達成状況
7	特定健康診査の受診率の向上	28.5%（n=68,664）	33.5%（n=64,756）	31.2%（n=54,592）	50%	B-
8	特定保健指導の実施率の向上	15.1%（n=2,355）	8.2%（n=2,397）	13.3%（n=1,847）	60%	C
9	メタボリックシンドローム該当者の割合の減少	15.5%（n=19,539）	16.8%（n=21,663）	19.6%（n=17,009）	11.6%	D
	メタボリックシンドローム予備群者の割合の減少	11.2%（n=19,539）	11.3%（n=21,663）	11.6%（n=17,009）	8.4%	D
10	高血圧（Ⅱ度以上）に該当する者の割合の減少（収縮期血圧が 160 ㎜ Hg 以上または拡張期血圧が 100 ㎜ Hg 以上）	6.4%（n=19,539）	5.8%（n=21,663）	7.2%（n=17,009）	5.5%	D
11	LDL コレステロール高値の割合の減少（160 ㎎／dl 以上）	男性 12.1%	男性 10.6%（n=8,994）	男性 10.0%（n=6,812）	男性 6.2%	B-
		女性 17.4%	女性 16.0%（n=12,669）	女性 13.6%（n=10,197）	女性 8.8%	B-

出所：枚方市国民健康保険の特定健康診査結果

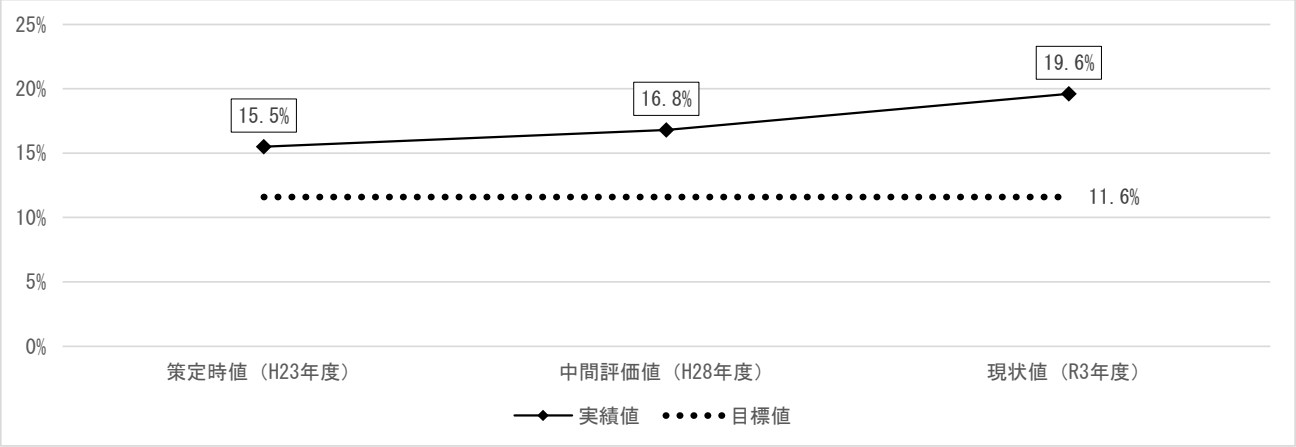
（項目番号７）特定健康診査の受診率



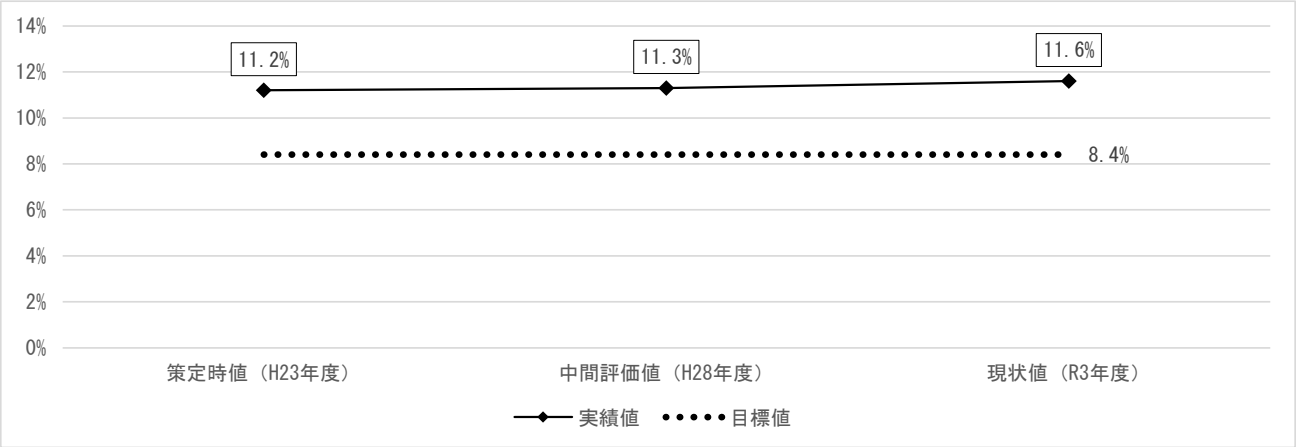
（項目番号８）特定保健指導の利用率



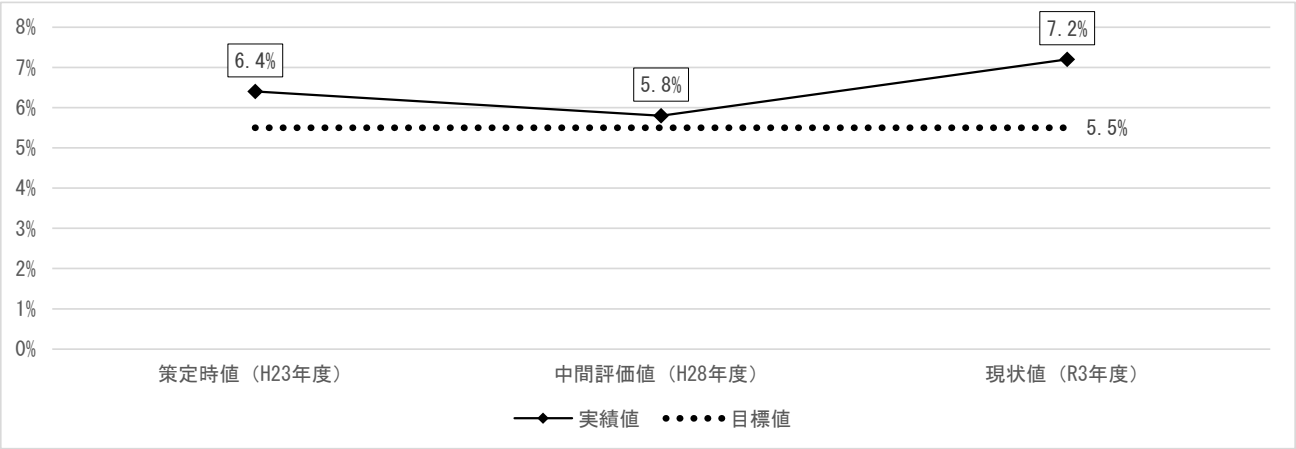
（項目番号９）メタボリックシンドローム該当者の割合



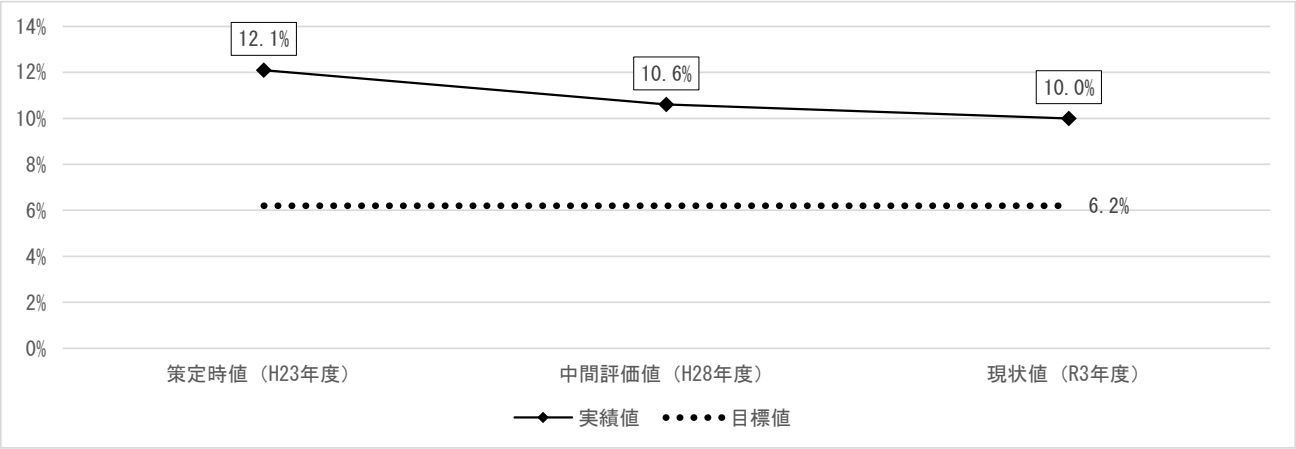
（項目番号９）メタボリックシンドローム予備群者の割合



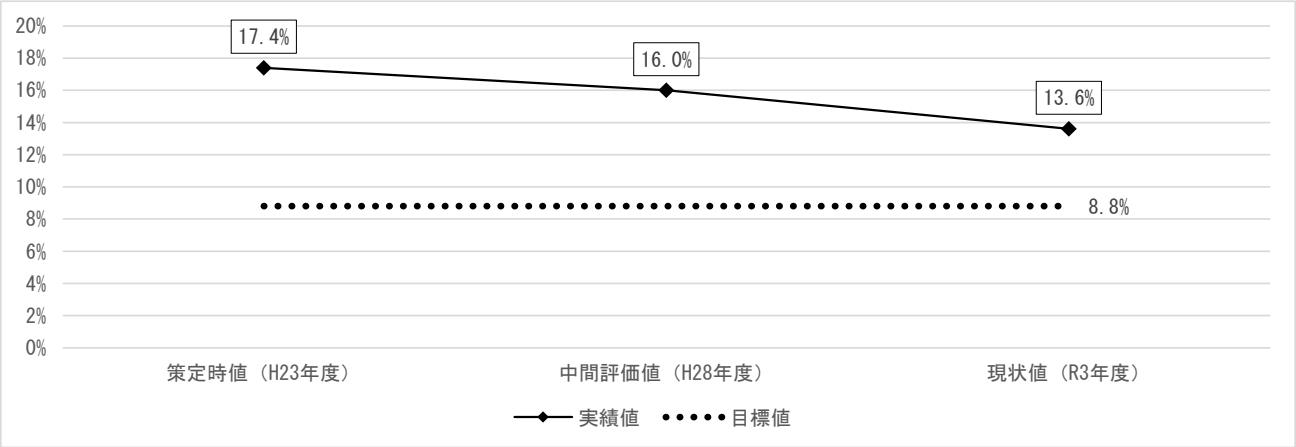
（項目番号 10）高血圧（Ⅱ度以上）に該当する者の割合



（項目番号 11）LDL コレステロール高値の割合（男性）



（項目番号 11）LDL コレステロール高値の割合（女性）



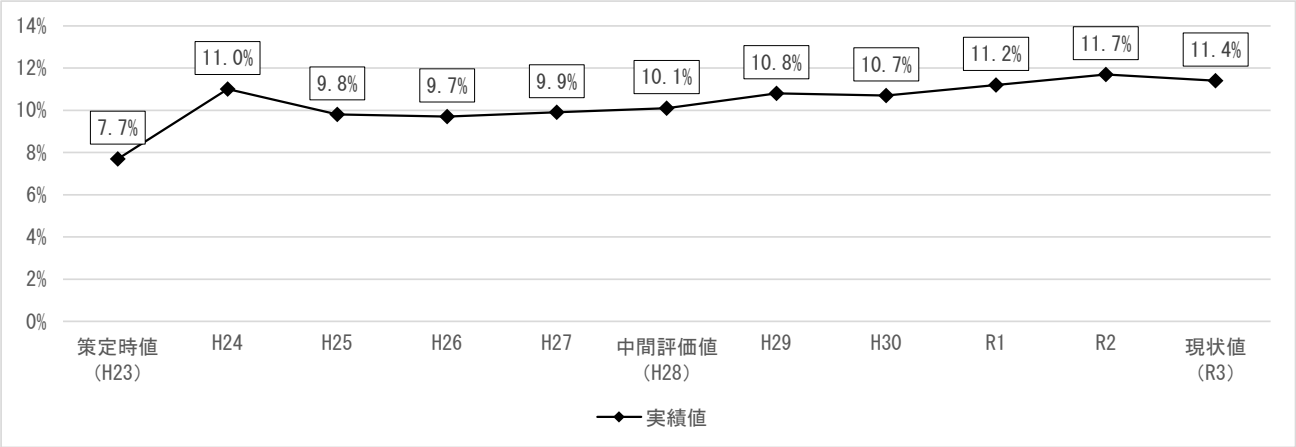
③　糖尿病

項目番号	目標項目	策定時値(H23 年度)	中間評価値(H28 年度)	現状値(R3 年度)	目標値(R5 年度)	策定時からの変化
12	糖尿病型に該当する者の割合の増加の抑制（空腹時血糖≧126 ㎎/dl、随時血糖値≧200 ㎎/dl、）HbA1c（NGSP）≧6.5%	7.7%（n＝19,539）（10.0%※1）	10.1%（n＝21,663）	11.4%（n＝17,009）	増加の抑制	横ばい

出所：枚方市国民健康保険の特定健康診査結果

※1：中間評価値・現状値が法定報告に基づいた数値のため、計画策定時値も法定報告数値を掲載

（項目番号 12）糖尿病型に該当する者の割合

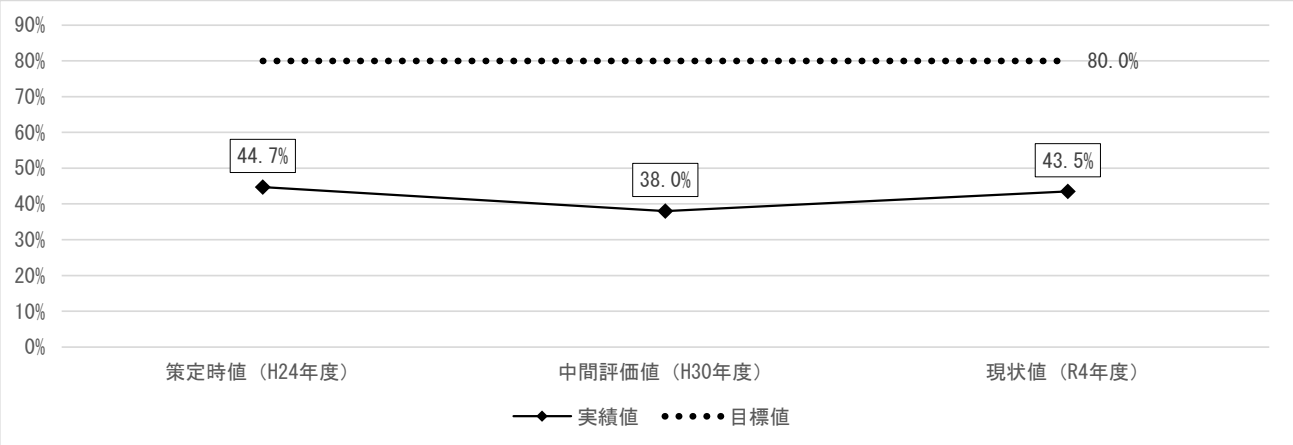


④　ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）

項目番号	目標項目	策定時値(H24 年度)	中間評価値(H30 年度)	現状値(R4 年度)	目標値(R5 年度)	達成状況
13	ＣＯＰＤがどんな病気か知っている者の割合の向上	44.7%（n=2,039）	38.0%（n=1,217）	43.5%（n=1,169）	80%	C

出所：市民アンケート

（項目番号 13）COPD がどんな病気か知っている者の割合

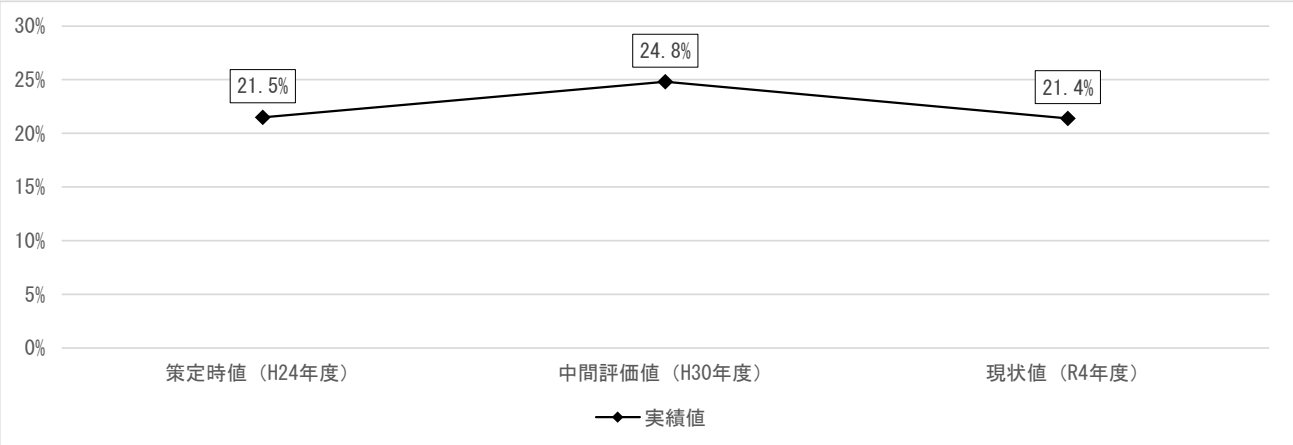


⑤　こころの健康

項目番号	目標項目	策定時値(H24 年度)	中間評価値(H30 年度)	現状値(R4 年度)	目標値(R5 年度)	策定時からの変化
14	悩みやストレス等のために身体や心の不調がある者の割合の減少	21.5%（n=2,039）	24.8%（n=1,217）	21.4%（n=1,169）	減少へ	横ばい

出所：市民アンケート

（項目番号 14）悩みやストレス等のために身体や心の不調がある者の割合



（２）　基本方向３：６つの分野に関する健康づくりの推進

①　乳幼児期（０～６歳）

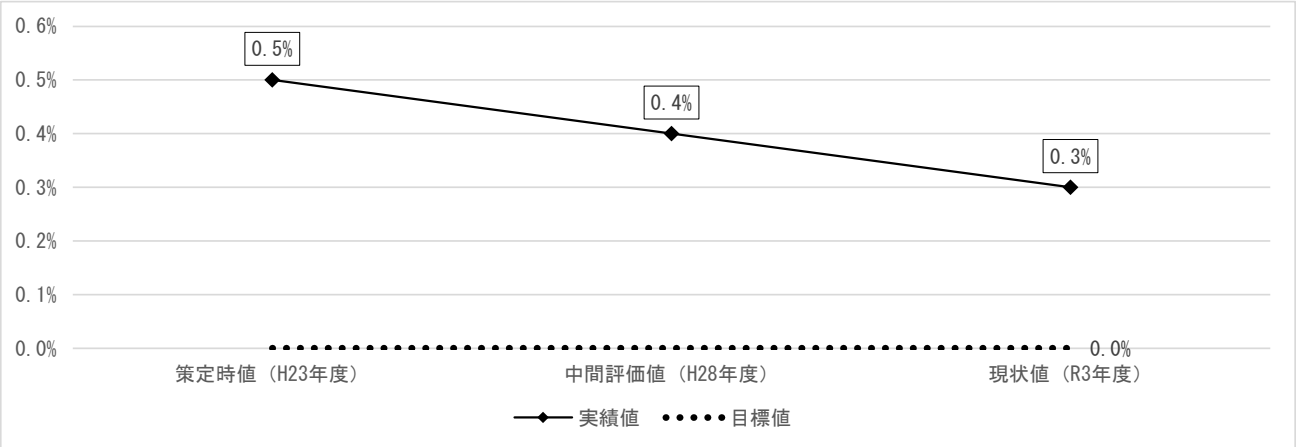
(ア) 栄養・食生活

項目番号	目標項目	策定時値(H23 年度)	中間評価値(H28 年度)	現状値(R3 年度)	目標値(R5 年度)	達成状況
15	欠食のある幼児の減少 （１日の食事回数が３回に満たない幼児の割合）	0.5% （n＝3,089）	0.4% （n＝2,938）	0.3% （n＝2,351）	0%※1	B- （暫定）

出所：枚方市３歳６か月児健康診査の問診結果

※１：第３次枚方市食育推進計画の目標値と同様

（項目番号 15）欠食がある幼児の割合

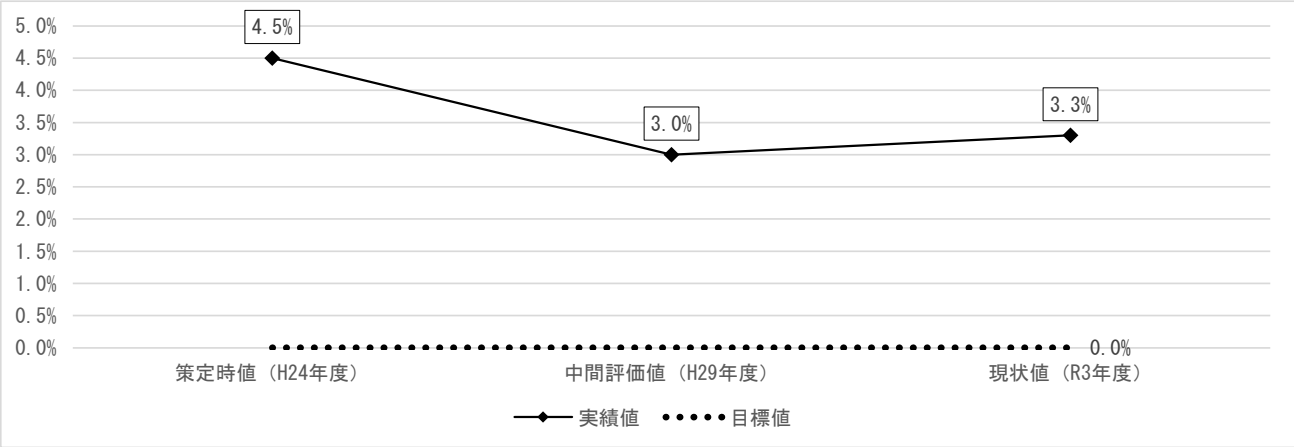


(イ) 身体活動・運動

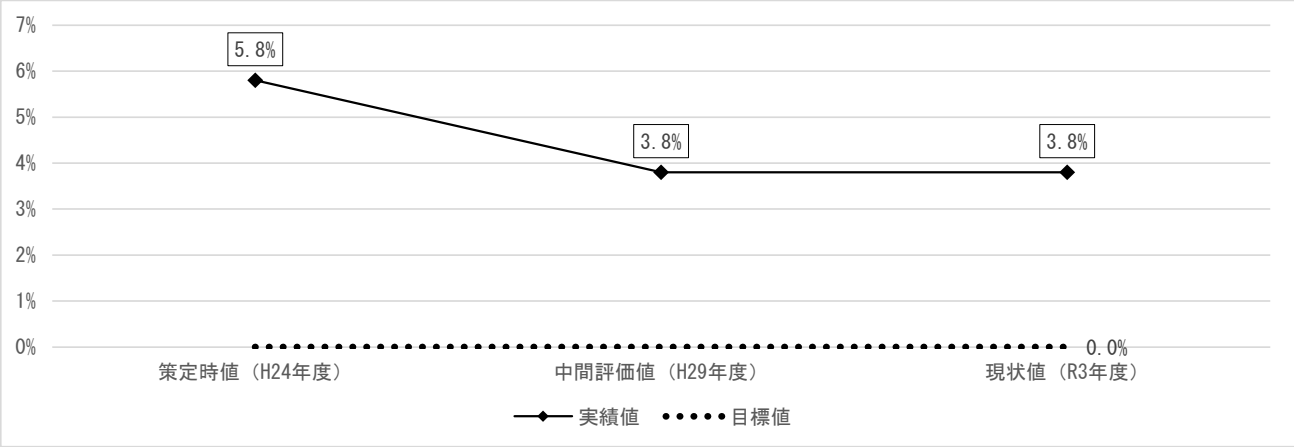
項目番号	目標項目	策定時値(H24 年度)	中間評価値(H29 年度)	現状値(R3 年度)	目標値(R5 年度)	達成状況
16	１歳６か月児の早寝早起きの推奨(23 時以降に就寝する者の割合の減少)	4.5% (n=3,468)	3.0% (n=3,026)	3.3% (n=2,310)	0%	B- （暫定）
	１歳６か月児の早寝早起きの推奨（９時以降に起床する者の割合の減少）	5.8% (n=3,468)	3.8% (n=3,026)	3.8% (n=2,310)	0%	B- （暫定）

出所：枚方市１歳６か月児健康診査問診結果

（項目番号 16）23 時以降に就寝する１歳６か月児の割合



（項目番号 16）９時以降に起床する１歳６か月児の割合

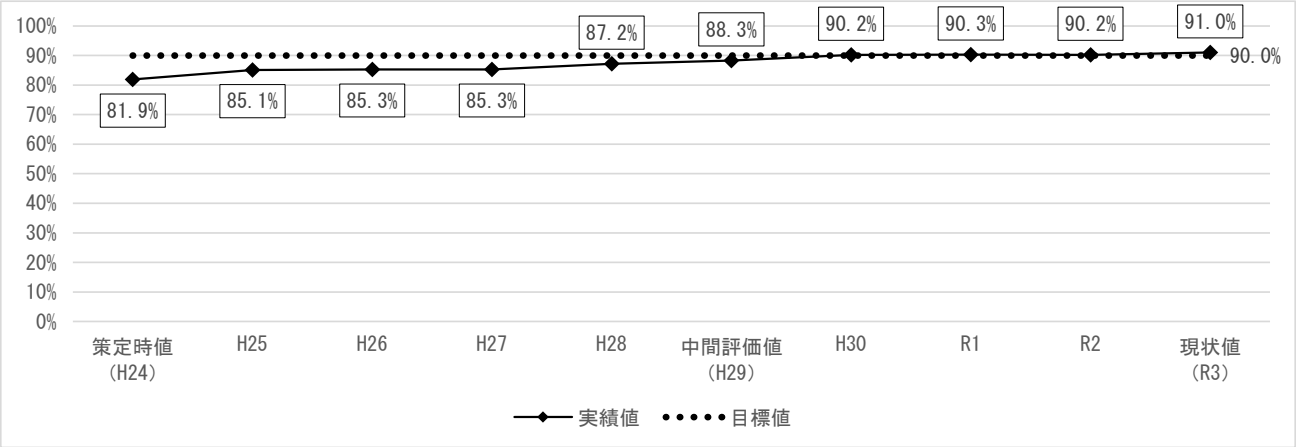


(ウ) 歯・口腔の健康

項目番号	目標項目	策定時値 (H24 年度)	中間評価値 (H29 年度)	現状値 (R3 年度)	目標値 (R5 年度)	達成状況
17	３歳６か月児健康診査における、むし歯のない児の割合の増加	81.9%（n=3,032）	88.3%（n=2,779）	91.0%（n=2,271）	90.0%	A（暫定）

出所：枚方市母子保健事業実績報告

（項目番号 17）３歳６か月児健康診査における、むし歯のない児の割合



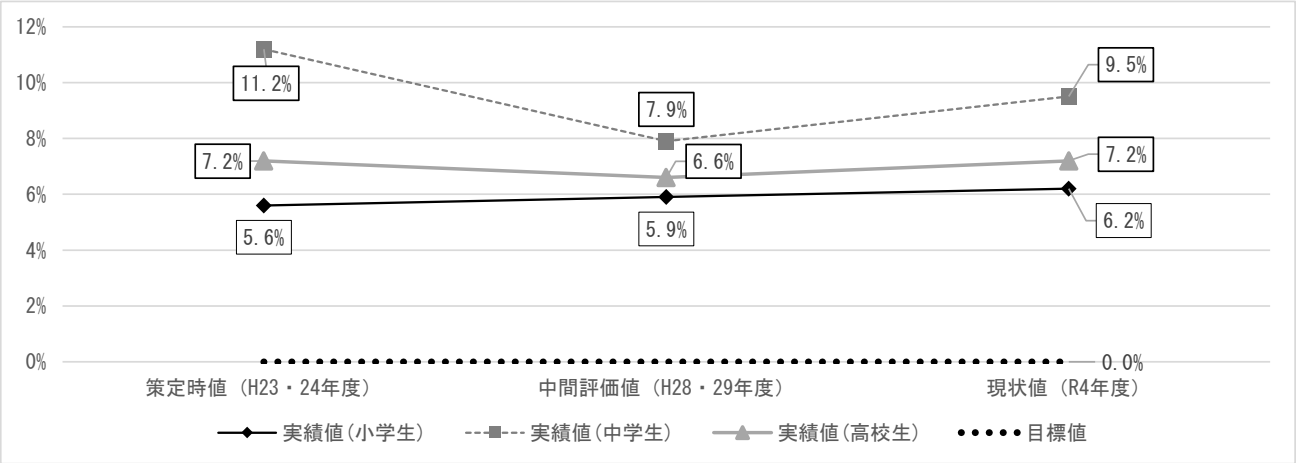
② 学齢期（７歳～18 歳）

(ア) 栄養・食生活

項目番号	目標項目	策定時値(H23･24 年度)	中間評価値(H28･29 年度)	現状値(R4 年度)	目標値(R5 年度)	達成状況
18	朝食を欠食している小中学生・高校生の割合の減少	小学６年生 5.6%※1	小学６年生 5.9% (n=3,613)	小学６年生 6.2% (n=3,215)	0%※2	D
		中学３年生 11.2%※1	中学３年生 7.9% (n=3,527)	中学３年生 9.5% (n=3,140)	0%※2	B-
		高校生 7.2% (n=1,389)	高校生 6.6% (n=1,400)	高校生 7.2% (n=890)	0%※2	C

出所：全国学力・学習状況調査（小学生・中学生）、高校生アンケート（高校生）
※１：ｎ数は非公表
※２：第３次枚方市食育推進計画の目標値と同様

（項目番号 18）朝食を欠食している小中学生・高校生の割合

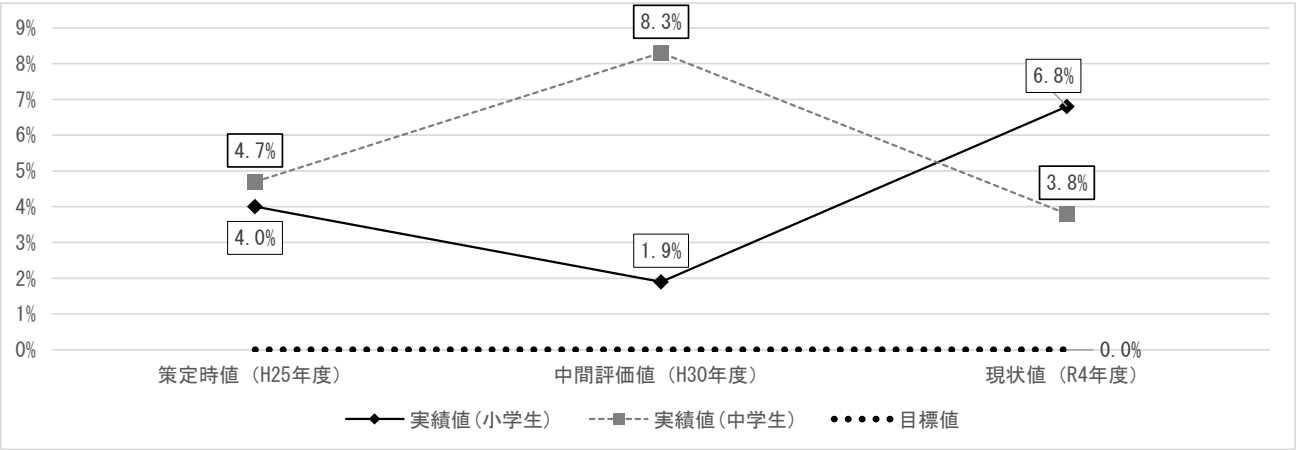


（イ）喫煙・飲酒

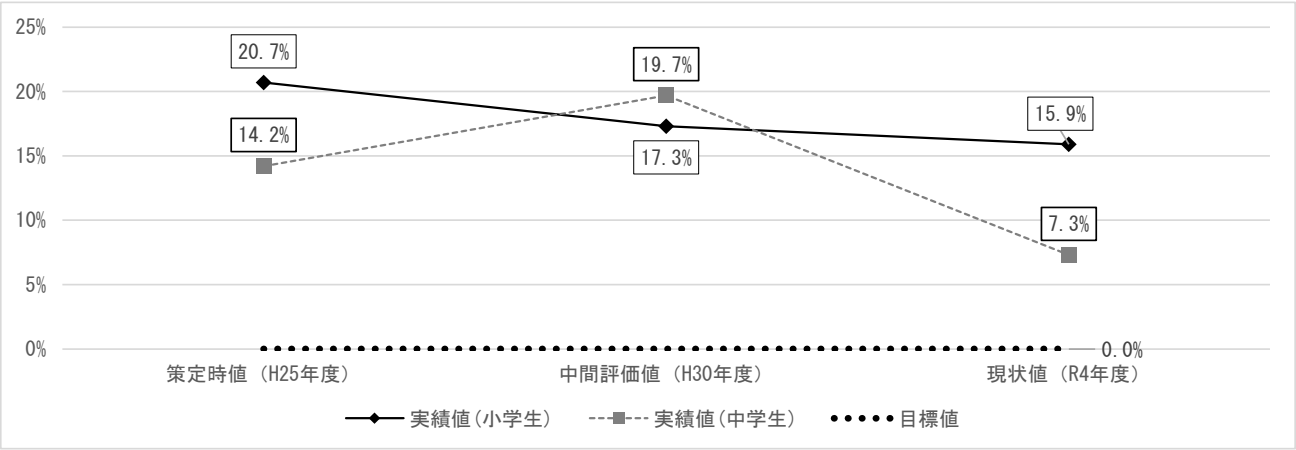
項目番号	目標項目	策定時値(H25 年度)	中間評価値(H30 年度)	現状値(R4 年度)	目標値(R5 年度)	達成状況
19	たばこの害について「わからない」小中学生の割合の減少	小学６年生 4.0%（n=569）	小学６年生 1.9%（n=585）	小学６年生 6.8%（n=572）	0%	D
		中学３年生 4.7%（n=825）	中学３年生 8.3%（n=700）	中学２年生 3.8%（n=288）	0%	B-
20	アルコールの害について「わからない」小中学生の割合の減少	小学６年生 20.7%（n=569）	小学６年生 17.3%（n=585）	小学６年生 15.9%（n=572）	0%	B-
		中学３年生 14.2%（n=825）	中学３年生 19.7%（n=700）	中学２年生 7.3%（n=288）	0%	B-

出所：小学生アンケート、中学生アンケート

（項目番号 19）たばこの害について「わからない」小中学生の割合



（項目番号 20）アルコールの害について「わからない」小中学生の割合

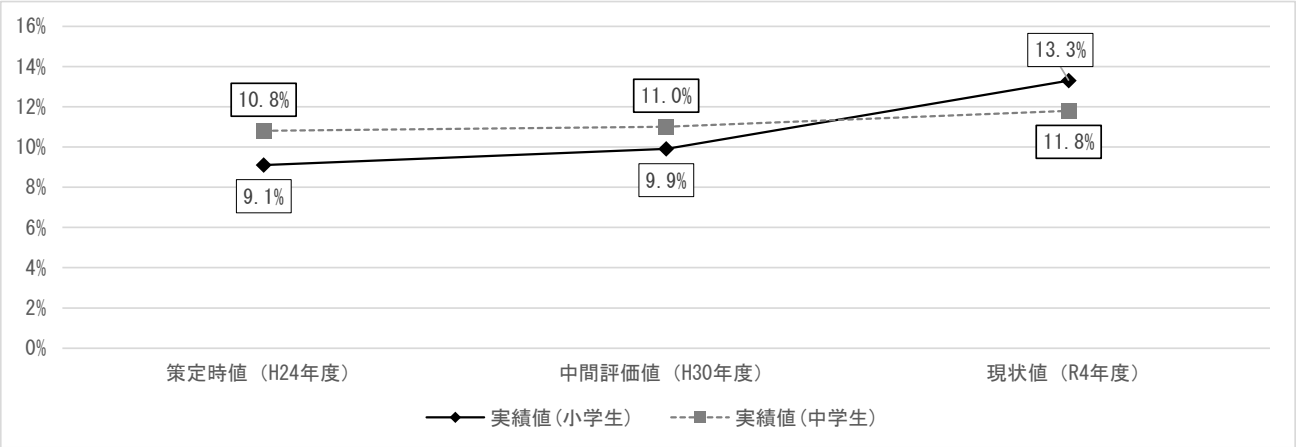


(ウ) 休養・こころの健康

項目番号	目標項目	策定時値(H24 年度)	中間評価値(H30 年度)	現状値(R4 年度)	目標値(R5 年度)	策定時からの変化
21	睡眠時間が短い小中学生の割合の減少 ・小学生７時間未満 ・中学生６時間未満	小学６年生 9.1% (n=569)	小学６年生 9.9% (n=585)	小学６年生 13.3% (n=572)	減少へ	増加
		中学３年生 10.8% (n=825)	中学３年生 11.0% (n=700)	中学２年生 11.8% (n=288)	減少へ	増加

出所：小学生アンケート、中学生アンケート

（項目番号 21）睡眠時間が短い小中学生の割合　※小学生７時間未満、中学生６時間未満



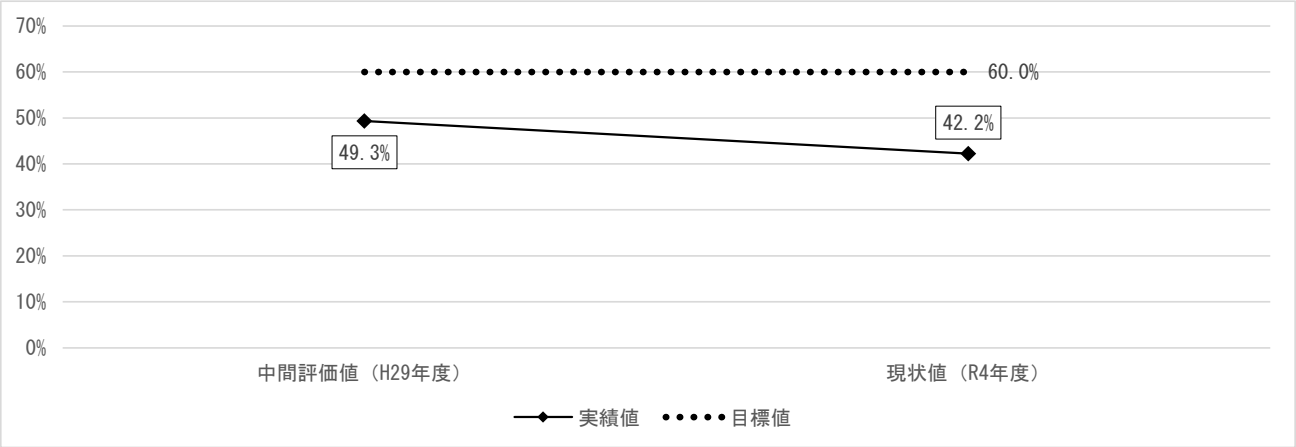
③　青年期（19～39 歳）

(ア) 栄養・食生活

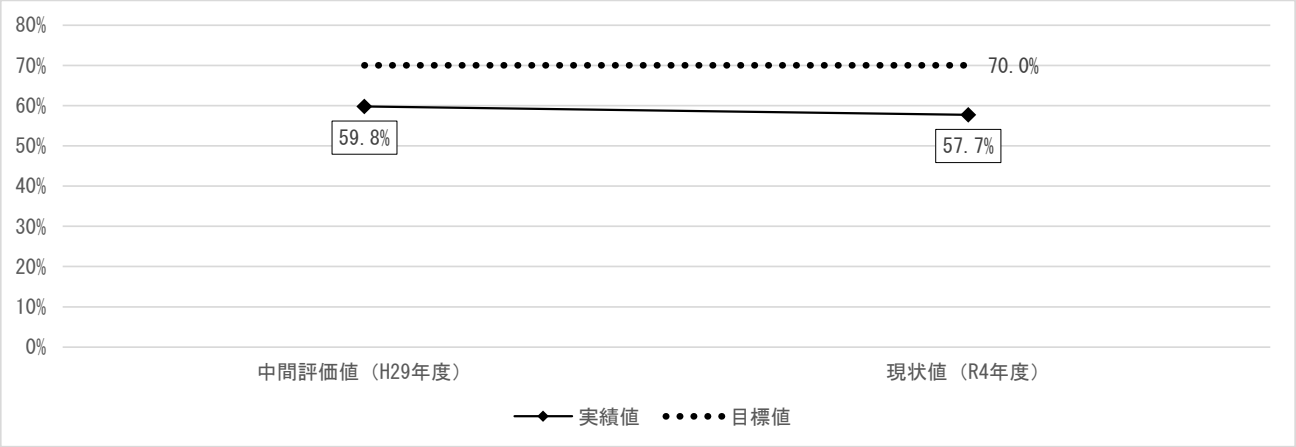
項目番号	目標項目	策定時値	中間評価値(H29 年度)	現状値(R4 年度)	目標値(R5 年度)	策定時からの変化
22-1	１日のうち２食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている若い世代の増加（20 歳代・30 歳代）	（値なし）	49.3% (n=221)	42.2% (n=206)	60%	策定時値なし
22-2	１日のうち２食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている者の増加	（値なし）	59.8% (n=1,236)	57.7% (n=1,273)	70%	策定時値なし

出所：枚方市「食」に関する市民意識調査

（項目番号 22-1）１日のうち２食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている若い世代の割合



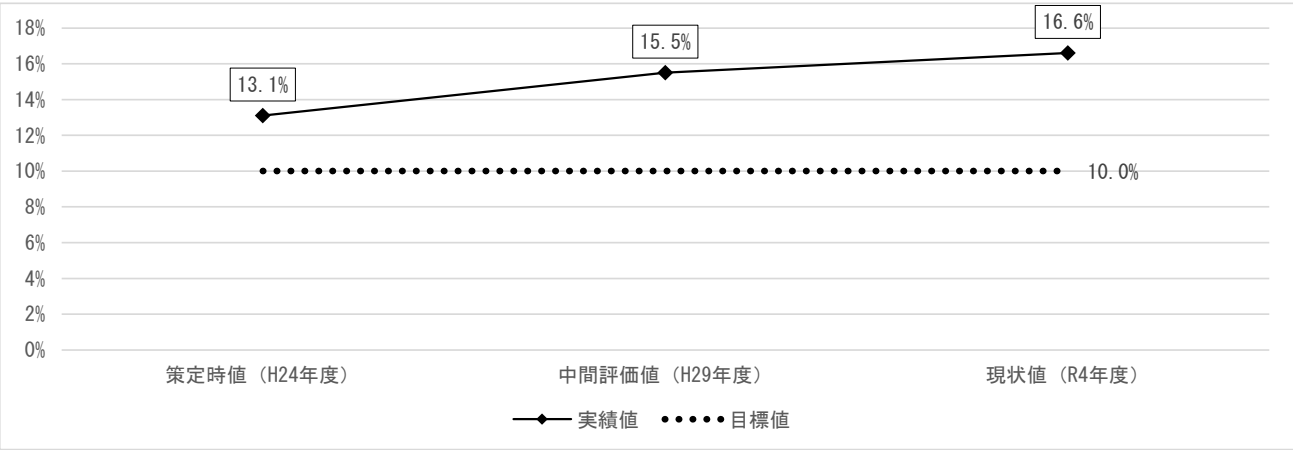
（項目番号 22-2）１日のうち２食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている者の割合



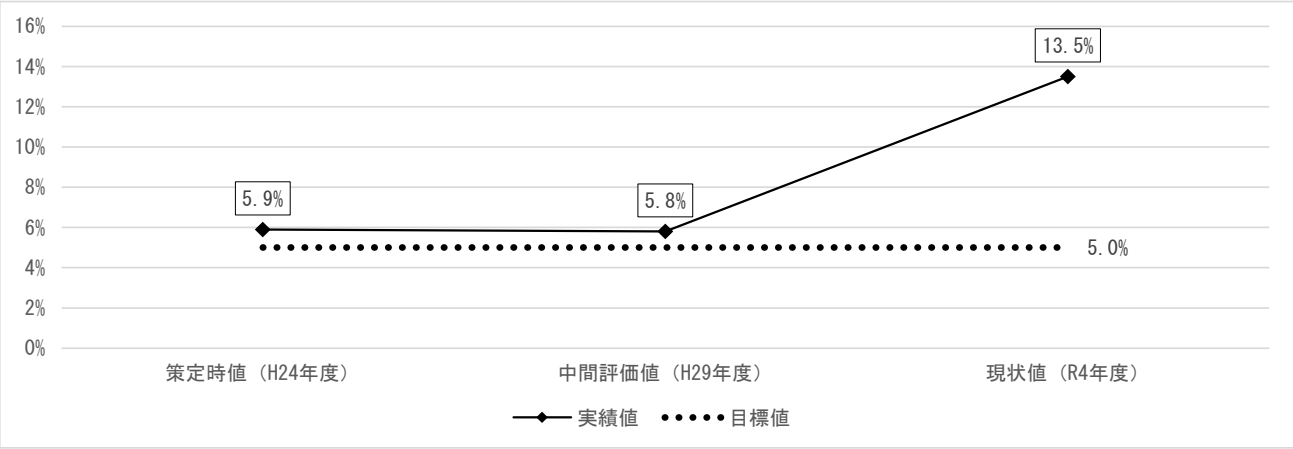
項目番号	目標項目	策定時値(H24 年度)	中間評価値(H29 年度)	現状値(R4 年度)	目標値(R5 年度)	達成状況
23	朝食を欠食している大学生・専門学校生の減少	男 13.1%（n=168）	男 15.5%（n=207）	男 16.6%（n=247）	男 10.0%※1	D
		女 5.9%（n=338）	女 5.8%（n=430）	女 13.5%（n=481）	女 5.0%※1	D

出所：枚方市「食」に関するアンケート（市内の大学及び専門学校）
※1：第３次枚方市食育推進計画の目標値と同様

（項目番号 23）朝食を欠食している大学生・専門学校生の割合（男性）



（項目番号 23）朝食を欠食している大学生・専門学校生の割合（女性）

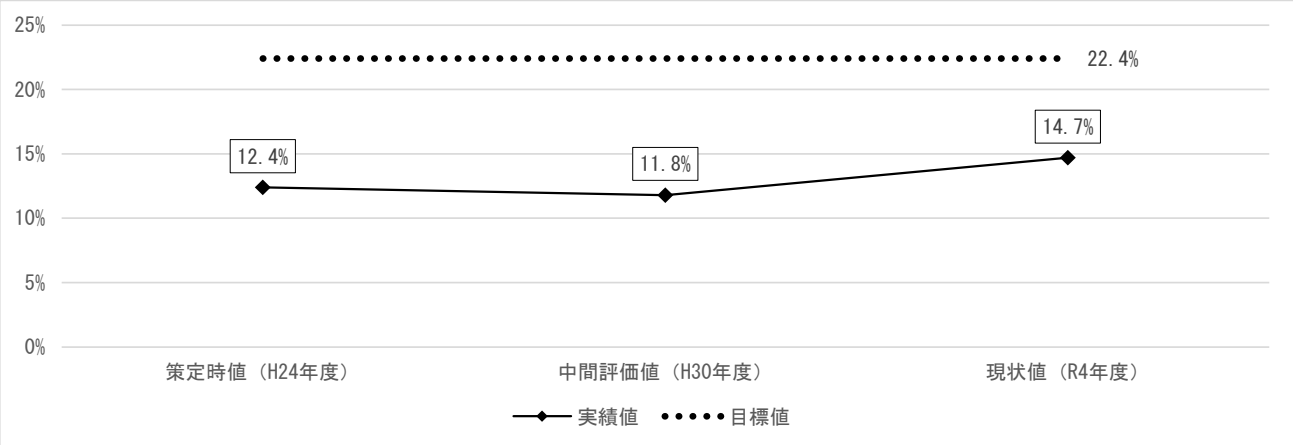


（イ）身体活動・運動

項目番号	目標項目	策定時値（H24 年度）	中間評価値（H30 年度）	現状値（R4 年度）	目標値（R5 年度）	達成状況
24	運動習慣者の割合の増加（20 歳～64 歳）	12.4%（n=1,233）	11.8%（n=652）	14.7%（n=524）	22.4%	B-

出所：市民アンケート

（項目番号 24）運動習慣者の割合　※20 歳～64 歳

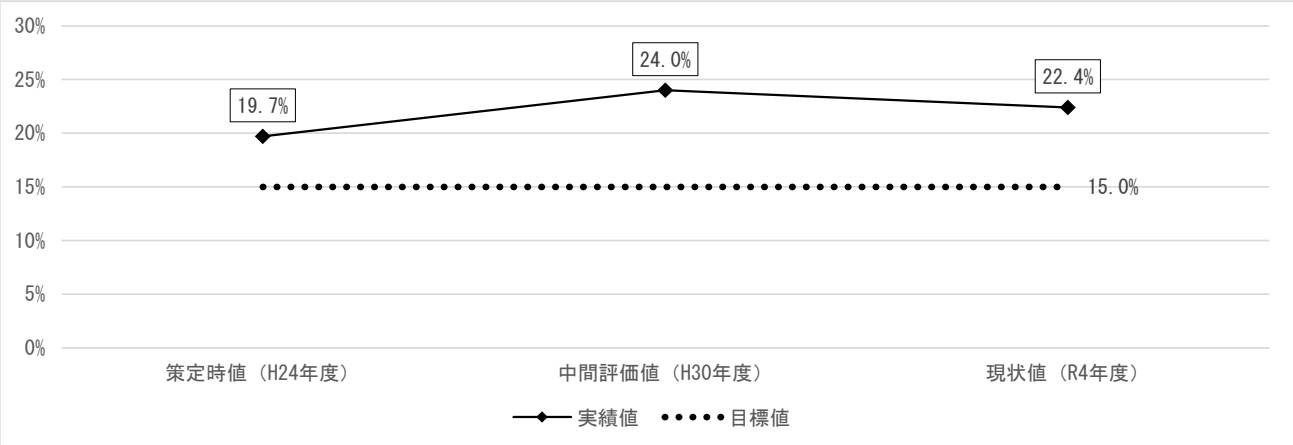


（ウ）休養・こころの健康

項目番号	目標項目	策定時値（H24 年度）	中間評価値（H30 年度）	現状値（R4 年度）	目標値（R5 年度）	達成状況
25	睡眠による休養が十分とれていない者の割合の減少	19.7%（n=2,039）	24.0%（n=1,217）	22.4%（n=1,169）	15.0%	D

出所：市民アンケート

（項目番号 25）睡眠による休養が十分とれていない者の割合



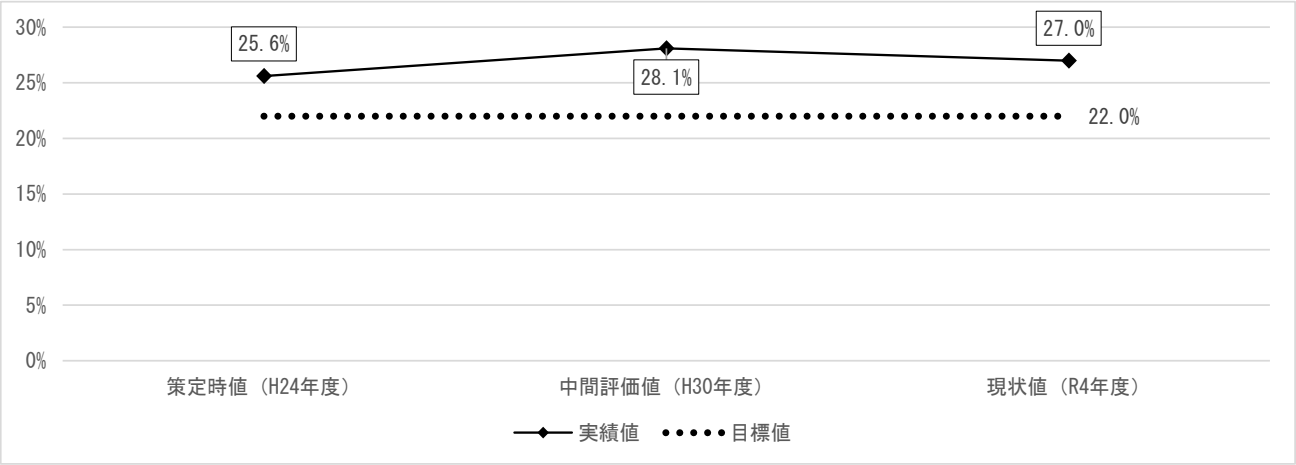
④　壮年期（40 歳～64 歳）

(ア) 栄養・食生活

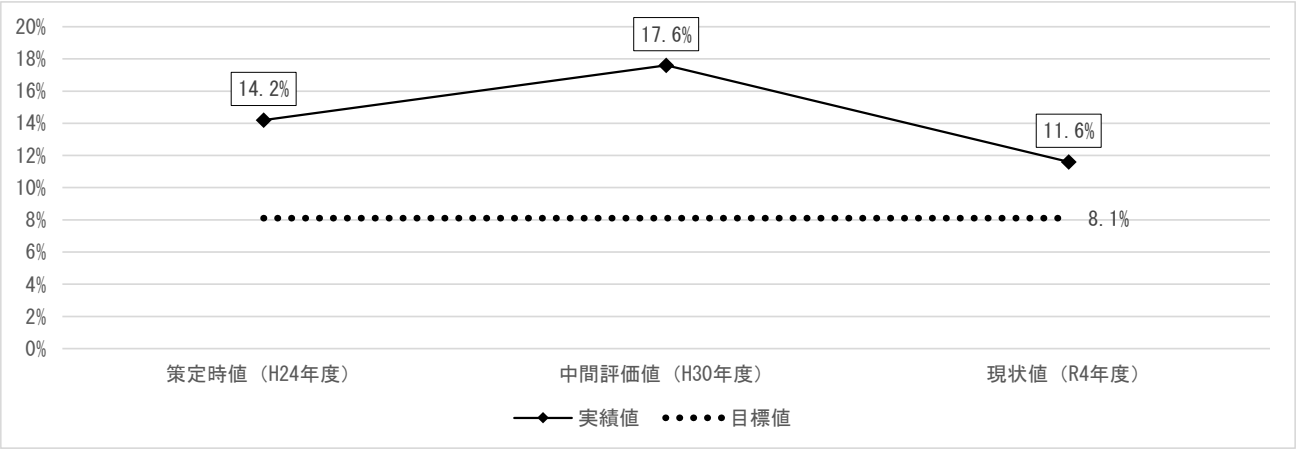
項目番号	目標項目	策定時値(H24 年度)	中間評価値(H30 年度)	現状値(R4 年度)	目標値(R5 年度)	達成状況
26	適正体重を維持している者の増加（肥満(BMI25 以上)の減少）	20～60 歳代の男性の肥満者の割合 25.6%（n=634）	20～60 歳代の男性の肥満者の割合 28.1%（n=313）	20～60 歳代の男性の肥満者の割合 27.0%（n=259）	20～60 歳代の男性の肥満者の割合 22.0%	D
		40～60 歳代の女性の肥満者の割合 14.2%（n=578）	40～60 歳代の女性の肥満者の割合 17.6%（n=341）	40～60 歳代の女性の肥満者の割合 11.6%（n=259）	40～60 歳代の女性の肥満者の割合 8.1%	B-

出所：市民アンケート

（項目番号 26）肥満者の割合（男性）



（項目番号 26）肥満者の割合（女性）

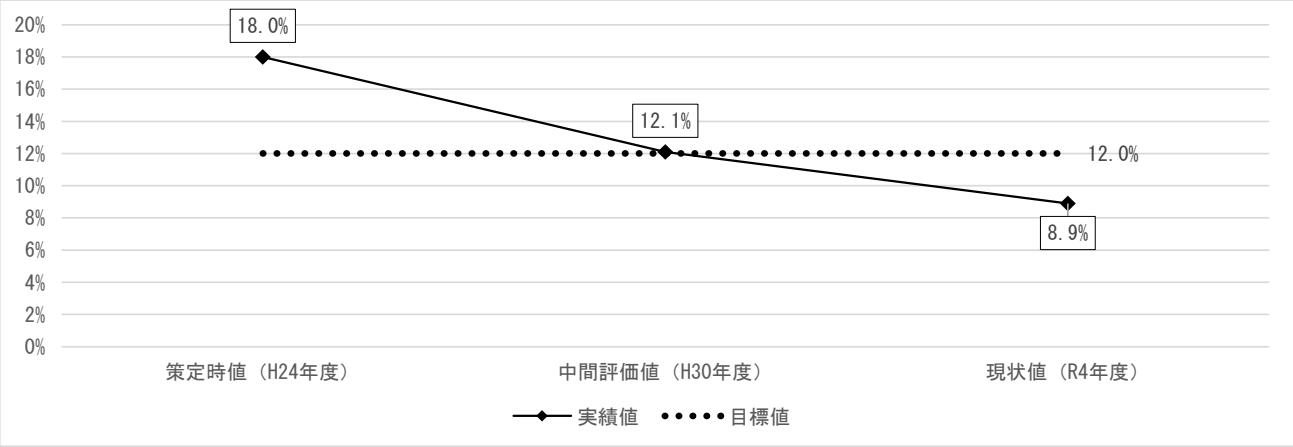


（イ）喫煙

項目番号	目標項目	策定時値（H24 年度）	中間評価値（H30 年度）	現状値（R4 年度）	目標値（R5 年度）	達成状況
27	成人の喫煙率の減少	18%（n=2,039）	12.1%（n=1,217）	8.9%（n=1,029）	12%	A

出所：市民アンケート

（項目番号 27）成人の喫煙率

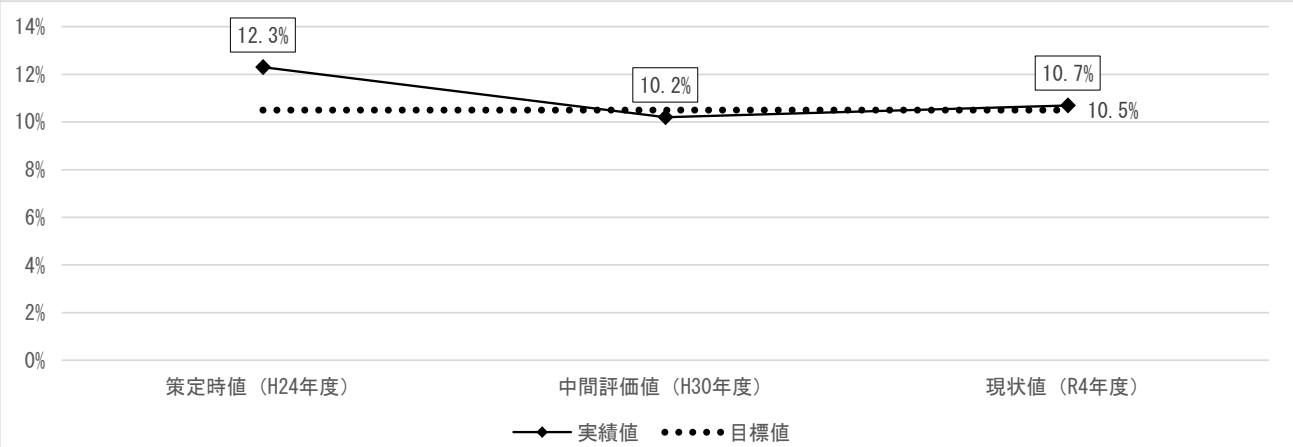


（ウ）飲酒

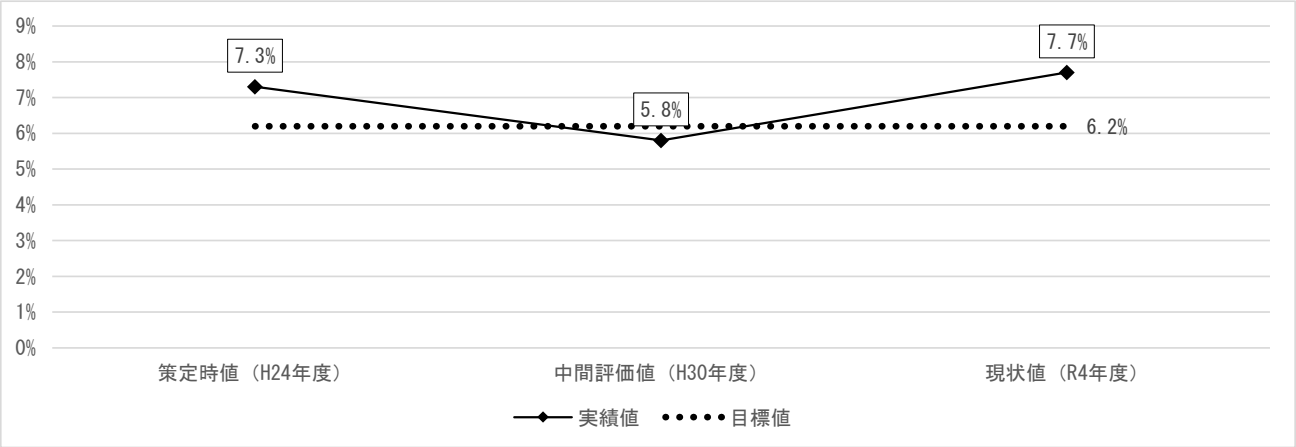
項目番号	目標項目	策定時値（H24 年度）	中間評価値（H30 年度）	現状値（R4 年度）	目標値（R5 年度）	達成状況
28	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少 （１日あたりの純アルコール摂取量が男性 40g 以上※1、女性 20g 以上※2）	男性 12.3%（n=895）	男性 10.2%（n=519）	男性 10.7%※1（n=503）	男性 10.5%	B+
		女性 7.3%（n=1,115）	女性 5.8%（n=694）	女性 7.7%※1（n=638）	女性 6.2%	D

出所：市民アンケート
※１：（「毎日×２合以上」＋「週５～６日×２合以上」＋「週３～４日×３合以上」＋「週１～２日×５合以上」/全回答者数
※２：（「毎日×１合以上」＋「週５～６日×１合以上」＋「週３～４日×１合以上」＋「週１～２日×３合以上」/全回答者数

（項目番号 28）生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合（男性）



（項目番号 28）生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合（女性）



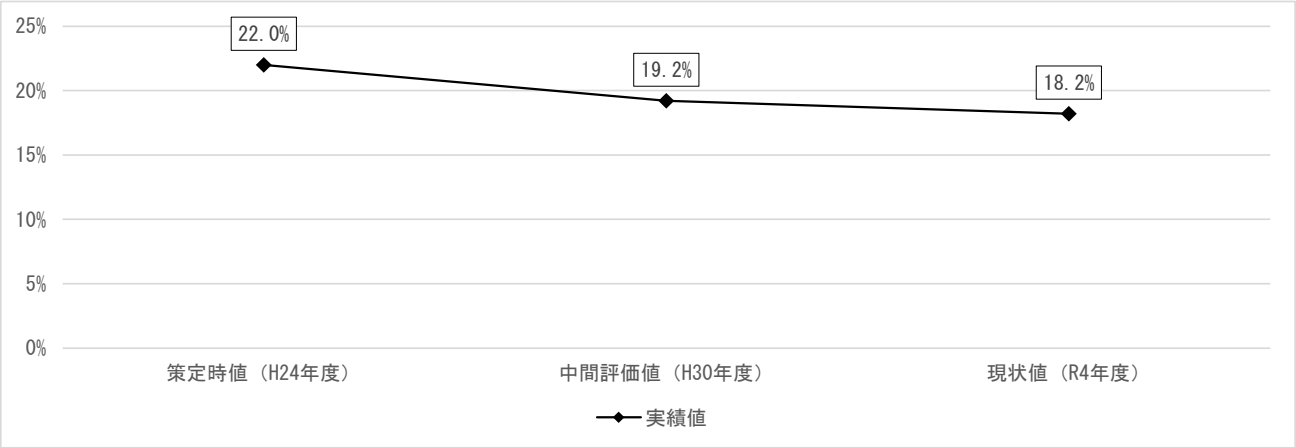
⑤　高齢期（前期：65～74 歳／後期：75 歳以上）

(ア) 栄養・食生活

項目番号	目標項目	策定時値(H24 年度)	中間評価値(H30 年度)	現状値(R4 年度)	目標値(R5 年度)	策定時からの変化
29	低栄養傾向にある高齢者の割合の増加の抑制（BMI20 以下の高齢者）	22.0%（n=696）	19.2%（n=515）	18.2%（n=505）	増加の抑制	減少

出所：市民アンケート

（項目番号 29）低栄養傾向にある（BMI20 以下の）高齢者の割合

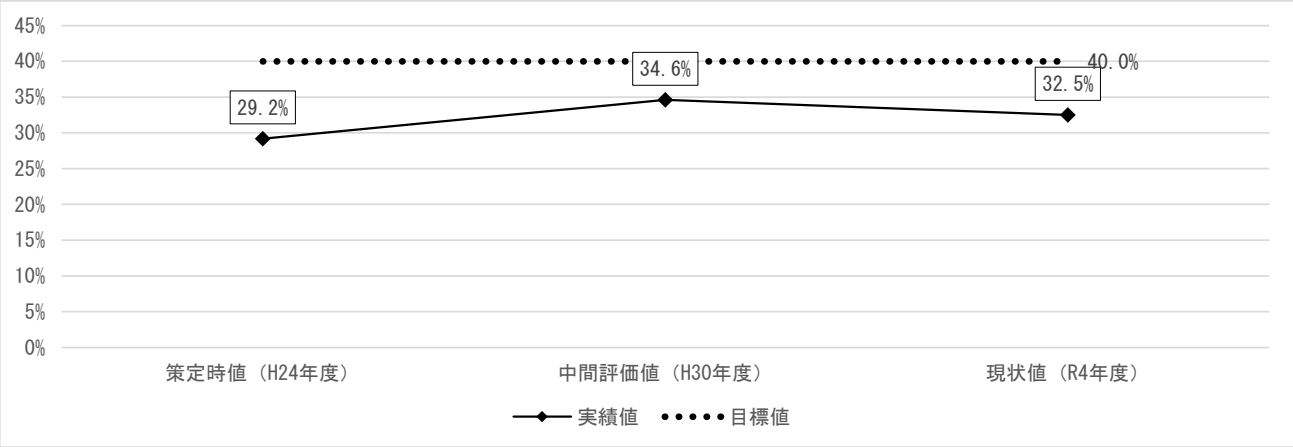


（イ）身体活動・運動

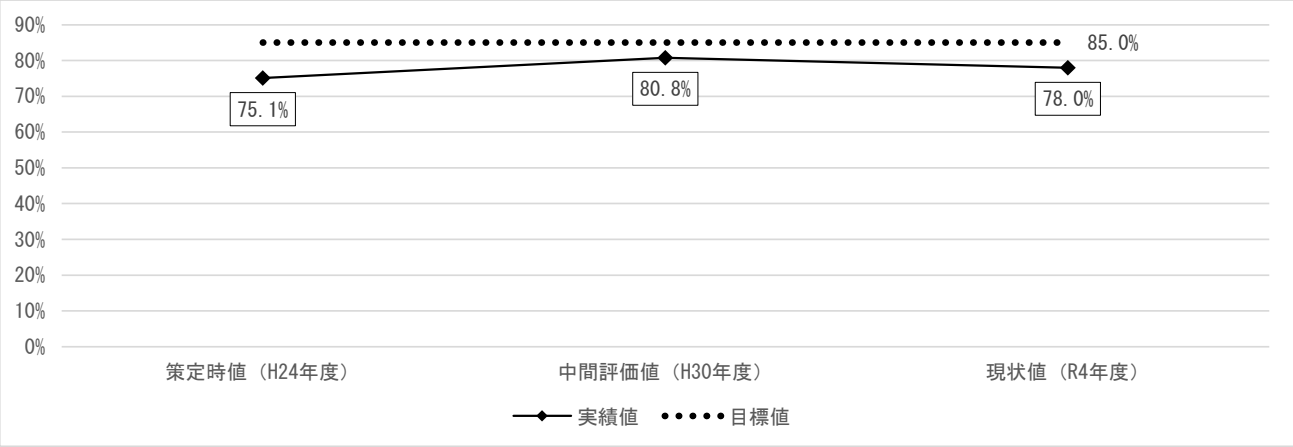
項目番号	目標項目	策定時値（H24 年度）	中間評価値（H30 年度）	現状値（R4 年度）	目標値（R5 年度）	達成状況
30	運動習慣者の割合の増加（65 歳以上）	29.2%（n=696）	34.6%（n=515）	32.5%（n=505）	40.0%	B-
31	日常生活において、意識して身体活動・運動を行っている者の割合の増加（75 歳以上）	75.1%（n=273）	80.8%（n=245）	78.0%（n=273）	85.0%	B-

出所：市民アンケート

（目標項目 30）運動習慣者の割合　※65 歳以上



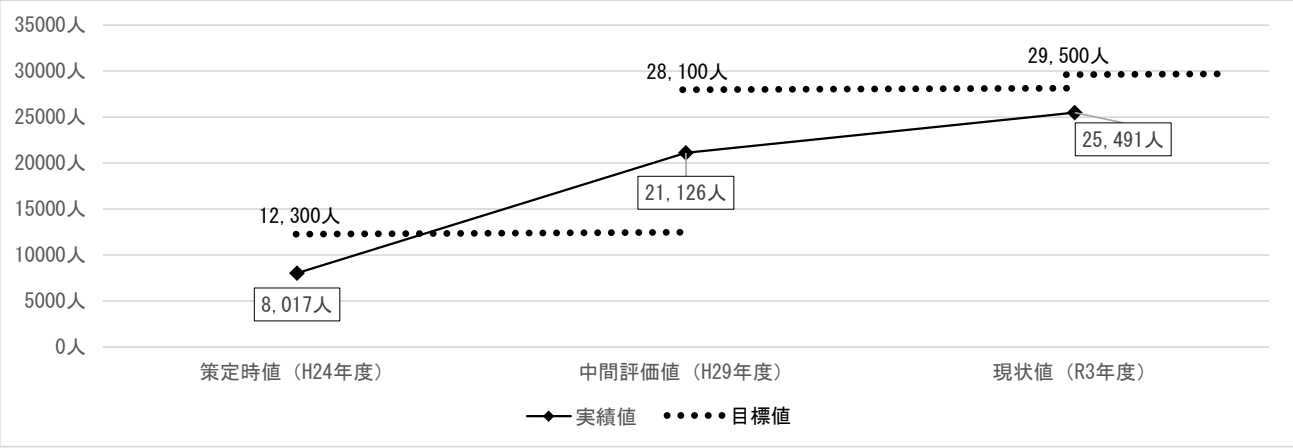
（項目番号 31）日常生活において、意識して身体活動・運動を行っている者の割合　※75 歳以上



項目番号	目標項目	策定時値(H24 年度)	中間評価値(H29 年度)	現状値(R3 年度)	目標値(R5 年度)	達成状況
32	認知症サポーターの人数の増加	8,017 人	21,126 人	25,491 人	29,500 人※1	B+（暫定）

出所：認知症サポーター養成講座開催実績（受講者数の累積）
※1：目標値については、ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第8期）に基づき変更

（項目番号 32）認知症サポーターの人数



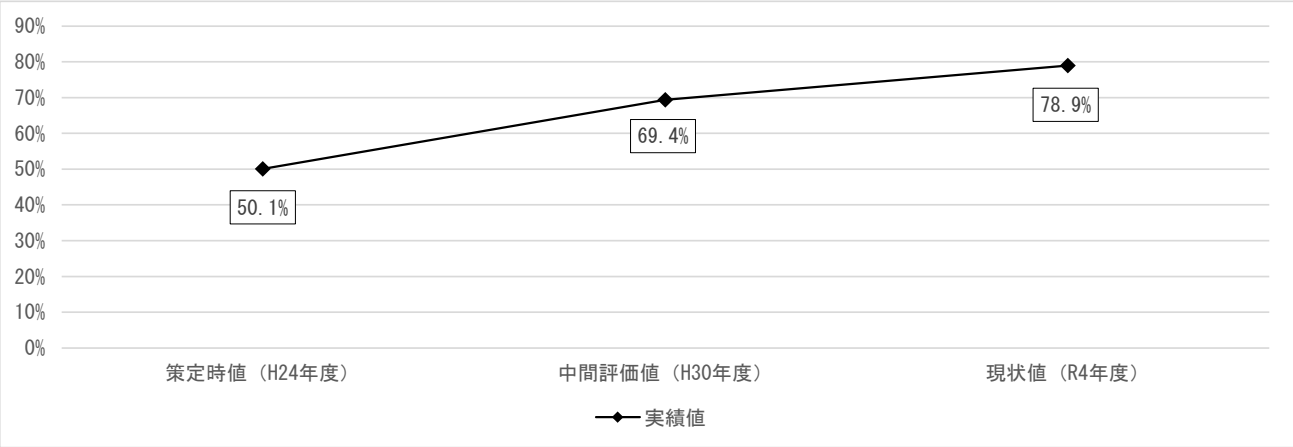
（ウ） 歯・口腔の健康

【前期高齢者】

項目番号	目標項目	策定時値(H24 年度)	中間評価値(H30 年度)	現状値(R4 年度)	目標値(R5 年度)	策定時からの変化
33	60 歳で 24 本以上の自分の歯を有する者の割合の増加（55～64 歳で算出）	50.1%（n=393）	69.4%（n=193）	78.9%（n=152）	さらなる増加	増加

出所：市民アンケート

（項目番号 33）60 歳で 24 本以上の自分の歯を有する者の割合

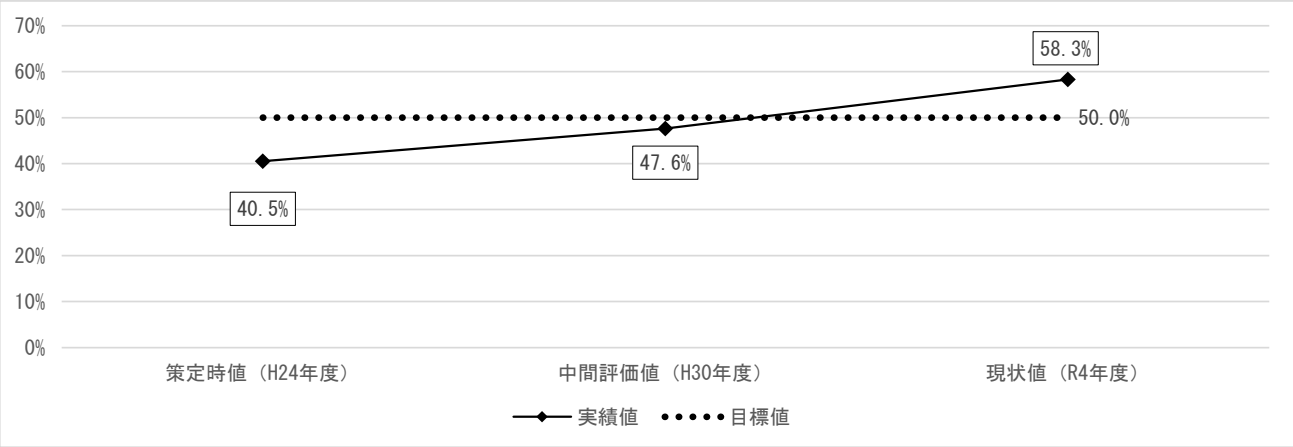


【後期高齢者】

項目番号	目標項目	策定時値(H24 年度)	中間評価値(H30 年度)	現状値(R4 年度)	目標値(R5 年度)	達成状況
34	80 歳で 20 本以上の自分の歯を有する者の割合の増加（75～84 歳で算出）	40.5%（n=210）	47.6%（n=187）	58.3%（n=211）	50.0%	A

出所：市民アンケート

（項目番号 34）80 歳で 20 本以上の自分の歯を有する者の割合



第３章　最終評価からみえてきた課題と今後の取組の方向性

（１）国の動向や新型コロナウイルス感染症の流行を含む社会環境の変化などについて記載する予定

（２）中間評価でまとめた「最終年度に向けて特に進める基本方針」や「優先的に取り組む課題」を中心に４つの基本方針ごとに最終評価の総括を記載する予定

（３）今後、取り組むべき方向性（次期計画に反映すべきこと等）を記載する予定